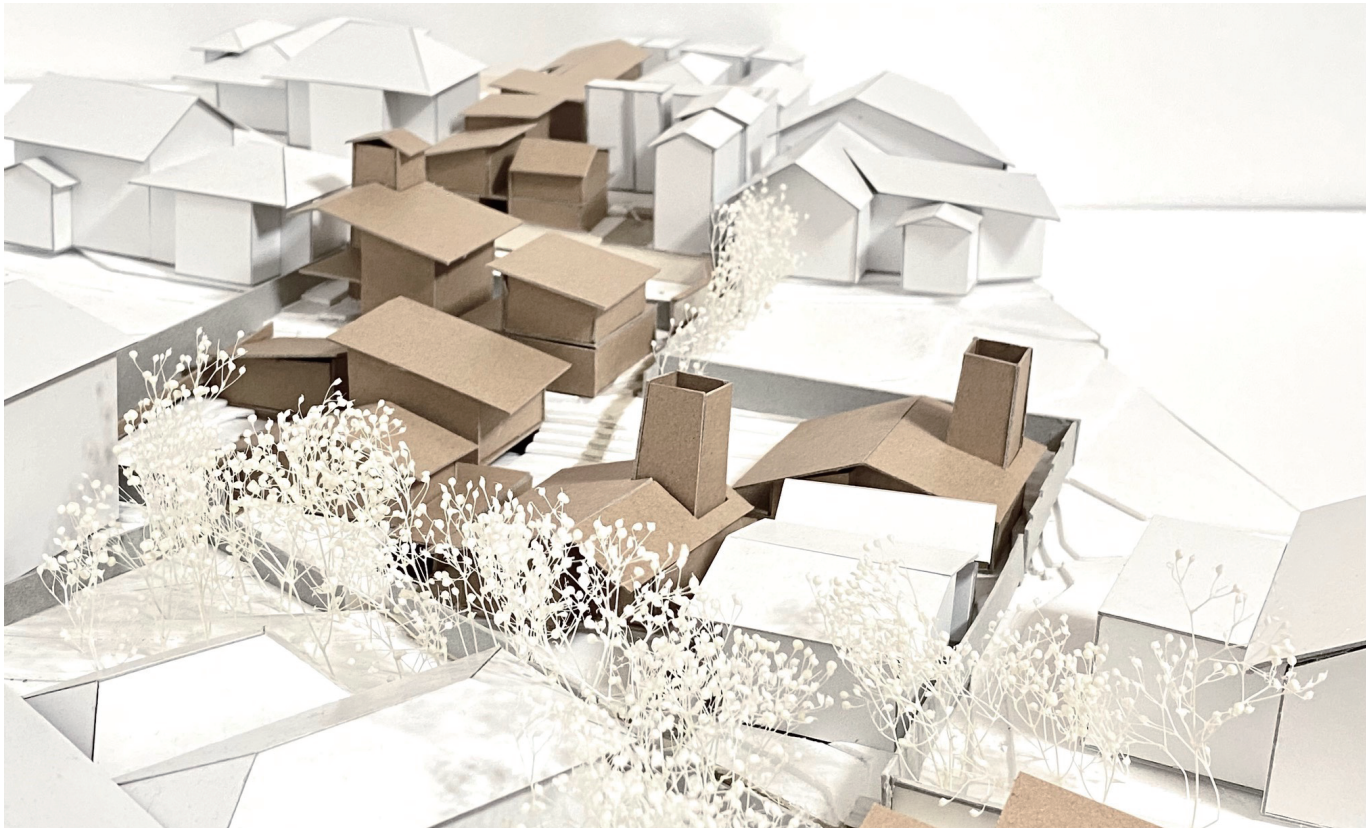
# 建産連NEWS

KENSANREN NEWS

No.173
2022/07

## 卒業設計コンクール展受賞作品

▲埼玉県知事賞



▲埼玉建築設計監理協会賞

一般社団法人　埼玉県建設産業団体連合会

# 建産連NEWS

KENSANREN NEWS

R4.7/No.173

2 **巻頭言**
「持続」と「進化」の維持管理を目指して／埼玉県下水道施設維持管理協会　会長

3 **県内プロジェクト紹介**
埼玉県屋内 50m 水泳場整備事業基本計画の策定について（概要）

9 **告知版**
社会環境の変化を踏まえた「埼玉県住生活基本計画」の見直しについて

**担い手確保・育成コーナー**
15 **1.** 第 22 回卒業設計コンクール展　開催
22 　第 21 回卒業設計コンクール展受賞者寄稿　フランス研修記
28 **2.** ものつくり大学卒業生の就職動向について
30 **3.** 工業高校卒業生の就職動向について
32 **4.** ワンポイント講座　工事成績評点のポイントアップ
34 **5.** 講習会案内

35 **県内経済の動き**
公共工事前払金保証統計から見た県内の公共工事等の動き（令和３年度）

39 **会員だより／連合会日誌**

40 **総会の結果について**

43 **編集後記**

**表紙写真**　第 22 回卒業設計コンクール受賞作品パース　▶関連記事 P15

巻頭言

# 「持続」と「進化」の維持管理を目指して

埼玉県下水道施設維持管理協会
会　長　　小　山　　昇

埼玉県の流域下水道は、昭和４２年に事業を着手し、都市部へ人口が集中する地域を対象とした大規模な施設や県が公共下水道を引き継いだ小規模な処理場など現在８つの流域下水道で構成されています。汚水の受入れを開始して既に５０年以上が経過する荒川左岸南部流域下水道をはじめ、各流域における施設の老朽化に伴う改築、更新の時期を迎えておりますが、県下水道局は今後の流域下水道事業を見据え、その運営の根幹となる「経営戦略」を定め「下水処理システムの保全や災害対策の強化など下水道本来の機能を将来に向けて『持続』していくと共に、下水道資源の有効活用など事業環境の変化に適応する『進化』を遂げる」との指針を掲げ、これらの具現化に向け１０項目の実践目標が設定され、特に施設の保全については、先述の通り機械・電気等の設備や土木・建築施設の老朽化に伴う改築、更新が喫緊の課題であることから優先すべき主要プロジェクトとして選定され、目標達成に向けた取組が既に開始されています。

主な取組として、従来の処理方法（標準活性汚泥法）では十分除去することが出来なかった富栄養化の原因となる窒素やリンを除去するために導入された「高度処理」は、放流先となる公共用水域の水質汚濁を防止するために欠かせない水処理施設ですが、既存施設の耐用年数や財政状況等により高度処理の導入が見込めない処理場では、良好な水環境を確保するために、施設や設備の改造、また運転方法を工夫したりするなど、段階的な高度処理化を図ることで適正な処理を持続し、放流先の水質改善に尽力して来ました。

また下水道資源を有効活用するために、下水処理の過程において汚泥中に含まれる微生物が有機物を分解する際に発生する「消化ガス」を燃料として活用するバイオガス発電が、県内２箇所の流域下水道でその事業を開始しましたが、このほかにも水蒸気との反応（水蒸気改質）によって水素を製造し燃料電池へ供給するなど、将来の化石燃料に代わる持続可能なエネルギーとしてその活用が見込まれますが下水処理に関連した有効な活用法としては、「消化ガス」が発生する「発酵」プロセスにおける消化槽の加温用に自らのエネルギーを賄うことが可能であること。さらには消化の促進によって減容化された汚泥の処理は、後段の脱水・焼却処理における省エネルギー化と温室効果ガスの削減、延いては温暖化対策にも貢献します。

このように下水道事業は様々な環境問題と密接な関係にあり、このほか浸水や地震などの災害対策に加え「現場」を支えてきた技術者の高齢化に伴う人材不足と技術の継承など多岐にわたる課題を抱えるなかで事業を継続していくためには、これまでの下水道施設台帳システムや一部施設の遠隔監視、気象に関する情報提供といったＩＣＴ（情報通信技術）をさらに幅広く活用していくことが求められます。例えばタブレット端末を用いた点検のデータ化とサーバ上の施設台帳システムの情報活用による機器の状況診断、また管渠流量計のクラウド化による遠隔監視、さらにＡＩ（人口知能）を活用した処理施設の自動運転化、危険性の高い作業箇所へのロボットによる支援など、これらの本格的な導入により効率の良い維持管理業務の運営が期待されます。当協会は県民の皆様の安心・安全な生活と良好な水環境の確保に資するため、恒久的な下水道サービスの提供に向けこれまで培った知識と経験を踏まえこれからも適正な維持管理の『持続』と新たな技術へ対応するための『進化』を続けてまいります。

県内プロジェクト紹介

# 埼玉県屋内50m水泳場整備事業基本計画の策定について（概要）

埼玉県県民生活部　スポーツ振興課

## 1 はじめに

本県の県営屋内５０m水泳場の整備については、埼玉県水泳連盟が「県営屋内５０mプールの建設要望に関する署名」１０１，８５０人分を集め、平成２０年４月に埼玉県議会の皆様と共に知事へ提出されたことがきっかけとなり検討が動き出しました。東日本で県営の屋内５０m水泳場がない都道府県は本県しかなく、署名には、厳しい環境の中で頑張っている水泳競技の選手たちの願いと、県民の健康増進のためプールを建設してほしいという関係者の熱い思いが込められています。

以来、県では埼玉県議会水泳振興議員連盟をはじめ、大学や各機関の専門家の皆様のお力添えを頂きながら、検討を進めてきました。令和元年１１月に設置した「屋内５０m水泳場及びスポーツ科学拠点施設の整備に関する有識者会議」においては、施設の在り方や設備の内容について専門的、技術的観点から提言を頂くとともに、整備地の決定にあたっては地元市の意向を十分に確認したうえで決定すべきであるとの報告を頂きました。

また、令和２年１２月には「埼玉県屋内５０m水泳場及びスポーツ科学拠点施設整備地選定委員会」を設置しました。両施設の最適な整備場所について「県域全体を見据えた有効性」「今後の埼玉を見据えた将来性」「県民全体の有益性」の3つの視点から検討いただき、令和３年３月に、屋内５０m水泳場の候補地として、川口市神根運動場及び神根公園が最適であるとの報告を頂きました。

令和３年度は、サウンディング型市場調査を実施し、整備場所を所管する川口市とも整備に関する協議を開始しました。

折しも、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で１年延期され開催された東京２０２０オリンピック・パラリンピック競技大会では、水泳競技をはじめとする本県ゆかりのアスリートたちの姿が私たちに感動と勇気を与えてくれました。県民の水泳競技をはじめとするスポーツへの関心が高まっている今、水泳競技の競技力向上と県民のスポーツ振興を目指し、屋内５０m水泳場の整備を推進するための「屋内５０m水泳場整備事業基本計画」を策定し県民の皆様に発信するものです。

整備する水泳場は、日本水泳連盟公認の県内初の公営屋内５０m水泳場として、水泳競技の各種大会を開催し、アスリートが自らの能力と技術の限界に挑む機会を提供するとともに、充実したトレーニング、練習会等を行える環境を提供します。

県が上尾市に設置を検討しているスポーツ科学拠点施設のサテライト施設として、スポーツ科学の知見を活かし科学的根拠に基づくアスリート支援を行うとともに、様々な競技のトレーニングやリハビリなどに水中運動を活用するための支援も行います。

また、年間を通じて天候に左右されず利用できる環境を整えるとともに、ユニバーサルデザインを取り入れ子供から高齢者まで障害の有無にかかわらず県民誰もが利用しやすい施設とします。

本施設を水泳のアスリートだけでなく多くの県民が訪れるスポーツ拠点とし、スポーツの振興を通じた埼玉県の発展を目指します。

## 2 基本計画の位置付け

⑴本計画は、屋内５０ｍ水泳場がアスリートの競技力向上だけでなく、県民の体力・健康づくりや水泳をはじめとしたスポーツの普及を目的とし、県民に愛され、地域の誇りとなる施設を目指すことを広く県民に発信するものです。

⑵本計画は、屋内５０ｍ水泳場をＰＦＩ方式で整備するにあたり基礎となる事項を示すものです。今後、要求水準書の作成や事業者選定にあたって、事業者の創意工夫あふれる提案を生かしより良い施設整備を進めるため、この基本計画をもとに引き続き検討していきます。

## 3 屋内５０m水泳場整備における基本的な考え方

⑴本計画では、アスリートにはパラアスリートを含むものとします。本施設は、ユニバーサルデザインを推進し、性別、年齢、障害の有無に関わらず誰もがスポーツを楽しめる共生社会の実現を目指す施設とします。

⑵本施設は、アスリートだけでなく県民誰もが利用できる施設とします。また、県民向けのスポーツ科学の知見に基づく情報を提供するなど水泳をはじめとした県民のスポーツ振興、健康増進を図る施設とします。

⑶本施設は、埼玉県と川口市が連携して整備し、地域に愛され多くの県民が訪れるスポーツの拠点を目指す施設とします。整備の詳細については、引き続き川口市と協議を行います。

## 4 設置目的

⑴日本水泳連盟公認の県内初の公営屋内５０ｍ水泳場を整備し、アスリートの競技力の向上につなげるとともに、国内主要大会を開催し、水泳の普及振興を図ります。

⑵１年を通して天候に左右されず誰もが水に親しむ環境を創出し、県民の健康増進・スポーツ実施率の向上を図ります。

## 5 導入機能

**⑴国内主要大会の開催**

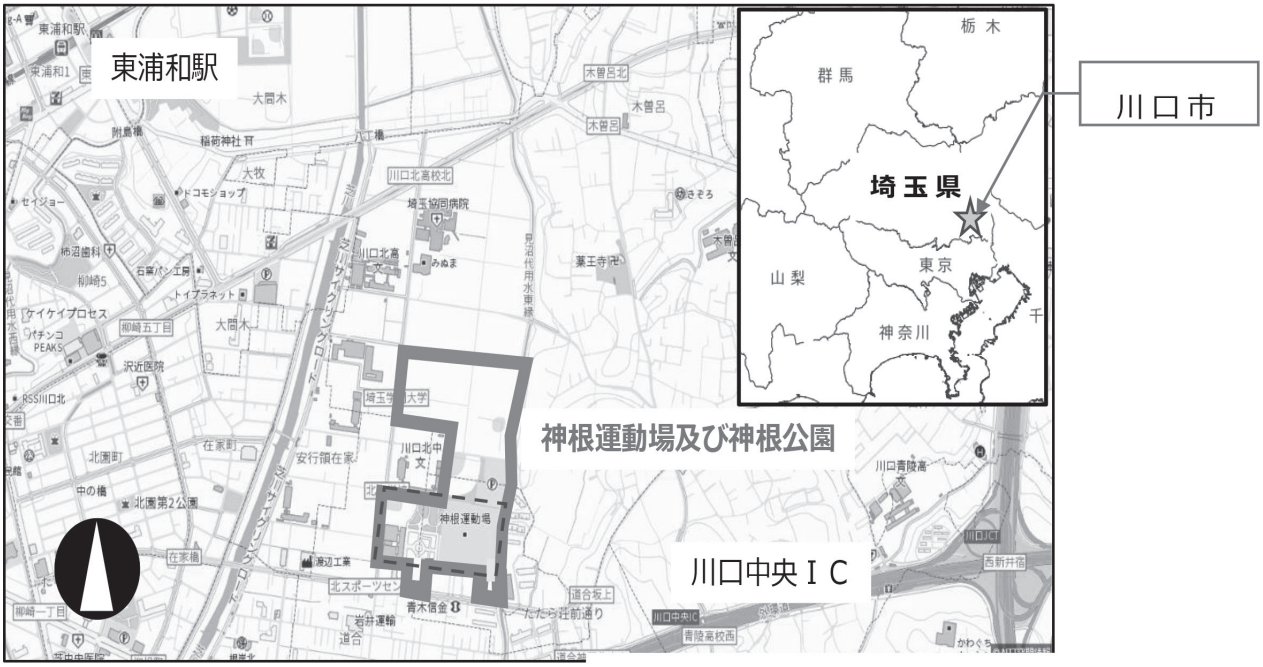
**⑵競技力の向上**

**⑶県民が水と親しむ環境の創出**

## 6 整備場所

川口市神根運動場及び神根公園内に整備します。

### ⑴神根運動場及び神根公園の立地



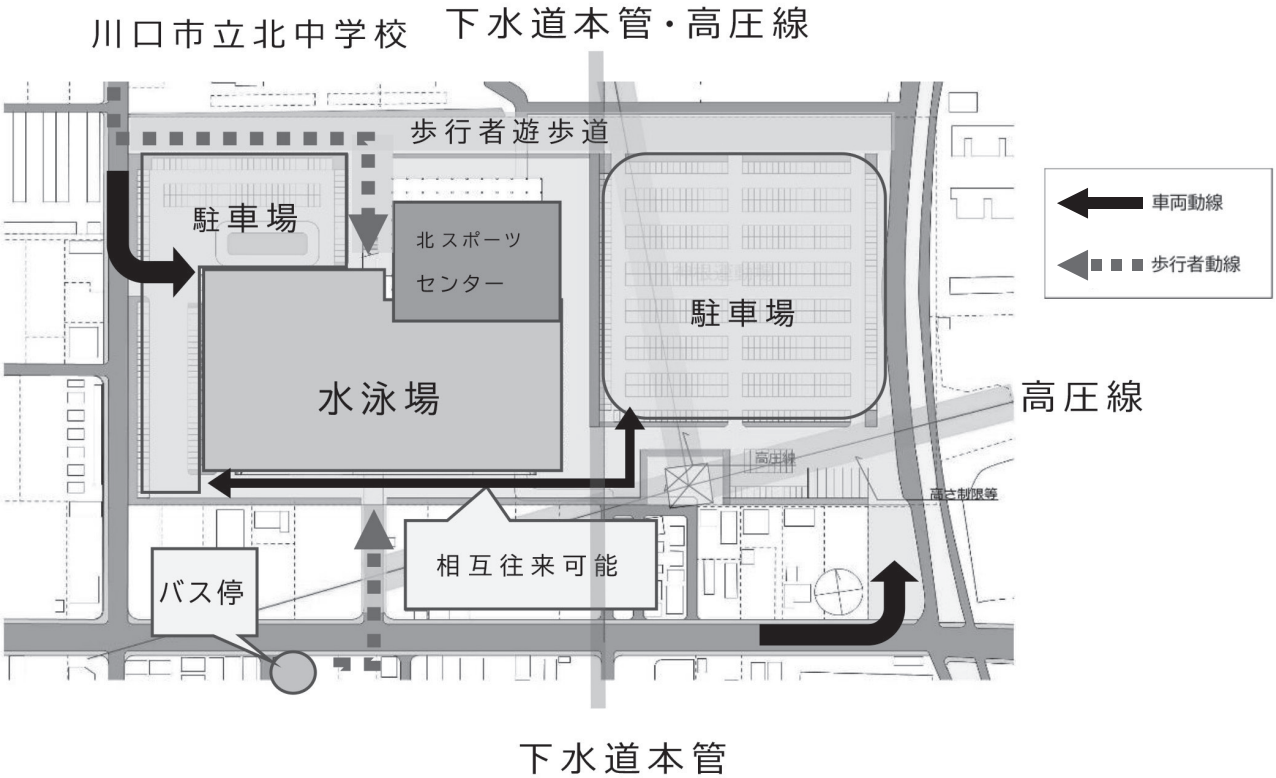

Copyright(c) ＮＴＴ空間情報 All Rights Reserved

**ア 基盤施設への影響回避**

- 敷地内の高圧線及び下水道本管に支障がないよう施設配置

**イ 北中学校への日陰対策**

**ウ 渋滞対策**



## 7 整備施設

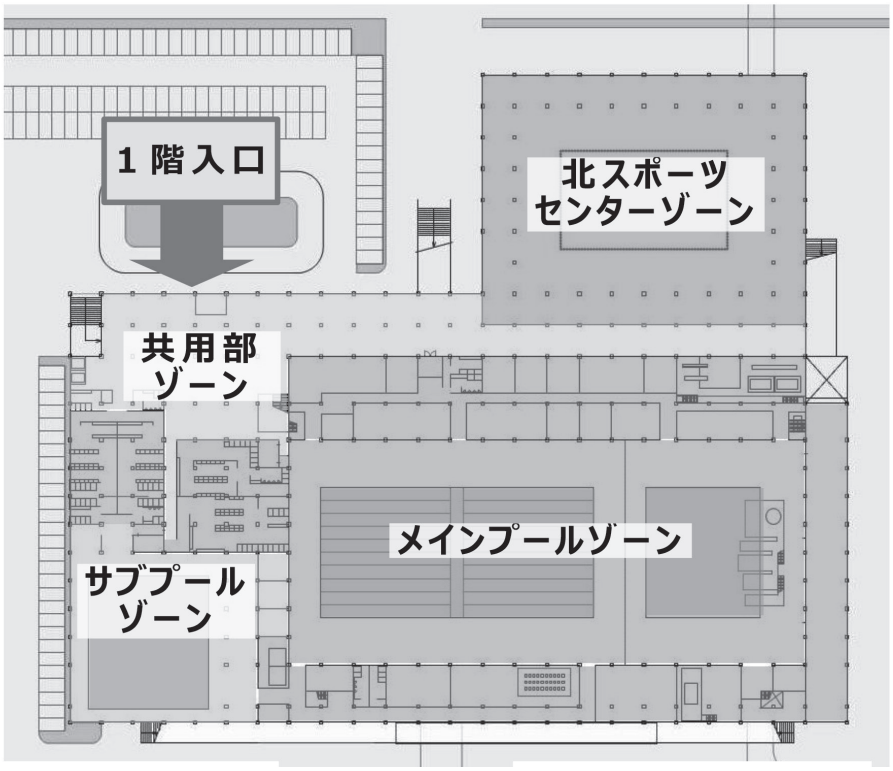
屋内５０m水泳場として整備する主要な施設は以下のとおりです。

### ⑴整備施設の内容と必要性

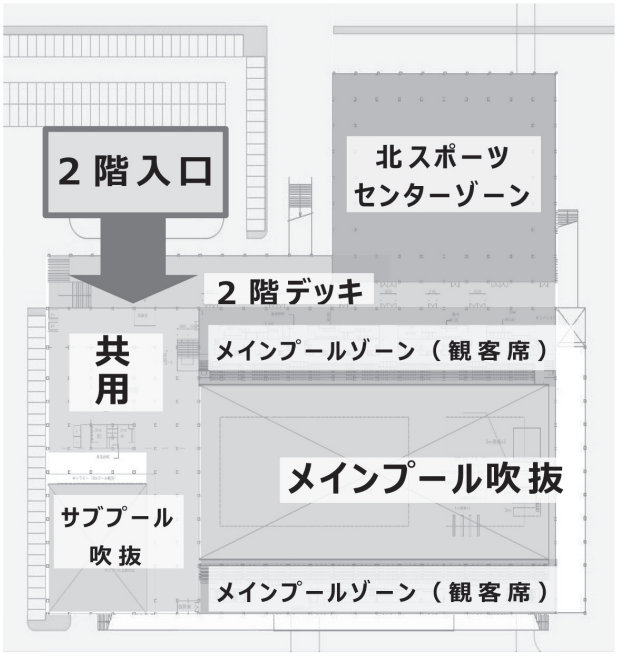
| 施設名 | 内容 | 整備の必要性 |
|---|---|---|
| メインプール | 50m×10レーン<br>×水深3m<br>可動床・可動壁 | **水深３m：**国際規格のプールとするため。アーティスティックスイミングの国内基準を満たすため。<br>**可 動 床：**未就学児教室（0.5m）、水中ウォーキング（1.2m）、水球（2m）、アーティスティック（3m）等多用途で活用するため。<br>**可 動 壁：**上記用途を同時活用するなど、柔軟な運営を可能とするため。 |
| 飛込プール | 25m×22m×水深5m<br>可動床 | **飛込プール：**国内主要大会の誘致に必要なため。競泳の大会開催時にウォーミングアッププールとして利用することで、サブプールを一般開放し、収益性向上につなげるため。<br>**水深５m：**国際大会と同じ環境で大会や練習を行うため。<br>**可 動 床：**上記多用途で活用するため。 |
| 観客席 | 3,000席<br>（メイン・飛込プール用） | 以下の理由により3,000席としました。<br>• 過去10年間の大規模な国内主要大会は全て観客席3,000席以上の会場で開催されているため。<br>• 県水泳連盟主催大会のうち3,000人程度の来場が見込まれる大会が30％程度あるため。<br>• 都道府県が持ち回りで開催している大会の誘致が期待できるため。 |
| サブプール | 25m×10レーン<br>×水深2m<br>可動床 | **サブプール：**水泳場の国内公認取得に必要なため。大会開催時でも一般向けの事業を実施し、収益性向上及び県民の健康増進につなげるため。<br>**可 動 床：**未就学児教室（0.5m）、水中ウォーキング（1.2m）等多用途で活用するため。 |
| 大会諸室 | 役員控室、審判室、<br>選手控室、<br>ドーピング検査室等 | 水泳場の国内公認取得に必要なため。 |
| 競技力向上施設 | 泳法解析装置、<br>スイムベンチ・<br>フィットネスバイク等 | スポーツ科学拠点施設と連携したトレーニングや指導に活用し、水泳の競技力向上につなげるため。泳法解析装置は可搬式カメラによる簡易なシステムとしました。 |

※記載内容は現時点の想定であり、今後の検討状況等によって変更が生じる場合があります。

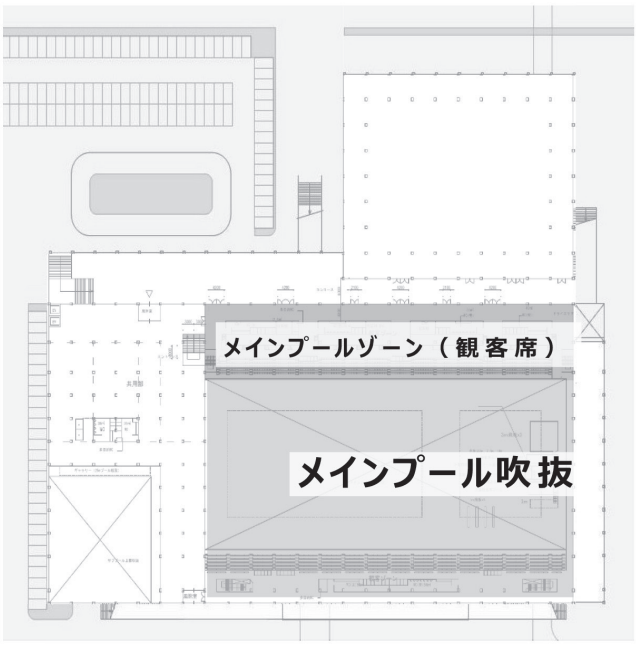
■配置計画イメージ図




■ 2 階イメージ図




■ 3 階イメージ図




## 8 事業スキーム

### ⑴施設整備の方針

川口市が整備を予定している北スポーツセンター（公民館を含む）と合築整備とし、整備費・運営費の効率化を図ります。

土地は川口市から無償貸与を受けるが、合築における整備分担や費用負担は今後の川口市との協議により決定します。

### ⑵事業手法の検討結果

民間活力導入可能性調査を以下のとおり実施しました。

**ア　定性的評価**

**他県事例による定性的評価**

官民連携手法を導入した公共体育施設（屋内50ｍ水泳場）における維持管理・運営期間は、先行事例では概ね15 年の期間となっています。

**イ　定量的評価**

従来手法で整備した場合と、PFI手法で整備した場合の整備費比較を行いました。

**従来手法の場合の整備費：約１４２億円**
**PFI手法の場合の整備費：約１３０億円**
} **整備費に対するPFIの事業効果は約１２億円**

※現時点の条件で整備費を試算して評価したものです。

**ウ　事業手法の考え方**

事業手法はPFI方式とし、運営期間は１５年とします。

※川口市北スポーツセンター（公民館を含む）のPFI事業の範囲については、今後の川口市との協議により決定します。

## 9 事業費

### ⑴整備費

他自治体における類似施設の施設整備の事例から、現時点での建設単価や施設規模を参考として必要な整備費を試算しました。

**約１３０億円**

### ⑵運営費

他自治体における類似施設の施設運営の事例から、現時点での料金設定等を参考として維持管理に係る費用や大会利用・水泳教室等の利用形態別の収入を試算しました。

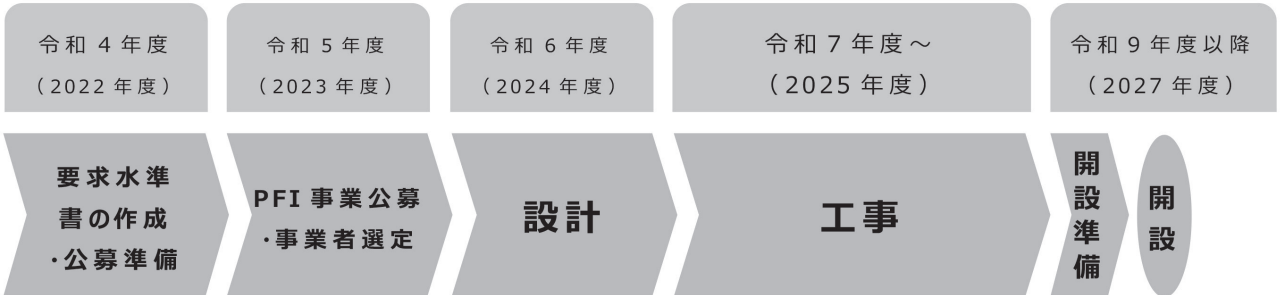
**支出額：約４．４億円/年**

**収入額：約１．２億円/年**

※今後の検討状況や建設単価等の変動によって変更が生じる場合があります。

## 10 スケジュール

PFI方式を導入するため、事業者の公募準備・選定・契約締結を行い、設計・建設工事を経て令和9年度中の開設を想定しています。




※「埼玉県屋内５０ｍ水泳場整備事業の基本計画の策定について」は以下の県のホームページで公表しています。

**https://www.pref.saitama.lg.jp/a0312/50m_pool/kihonkeikaku.html**

【告知版】

# 社会環境の変化を踏まえた「埼玉県住生活基本計画」の見直しについて

埼玉県都市整備部　住宅課

## ❶ 計画策定の背景と目的

住まいとこれを取り巻く住環境は、健康で文化的な生活を送る上の基盤となるものです。豊かな住生活を実現するためには、社会環境やライフスタイルの変化に応じ、住まいと住環境に加え、住まい手も意識を変えていかなくてはなりません。

本県の人口はこれまで一貫して増加を続けてきましたが、今後は減少に転じてくことが予測されています。また、世帯数は人口減少後もしばらく増加を続けた後に緩やかに減少していくことが見込まれており、その後、本格的な人口・世帯数減少社会を迎えます。

１９９０年代はじめに３人を下回った１世帯あたりの人員は令和12年には２．２９人になることが見込まれています。また、令和２２年には単身世帯数が総世帯数の３分の１を超えるとともに高齢者のみ世帯数の増加が予測されており、家族類型の変化など住まいの大きな転換期を迎えます。

これらの人口動態に加えて、コロナ禍を踏まえた新たな日常や脱炭素社会の実現に向けた社会活動など住生活を取り巻く社会環境は大きく変化しています。

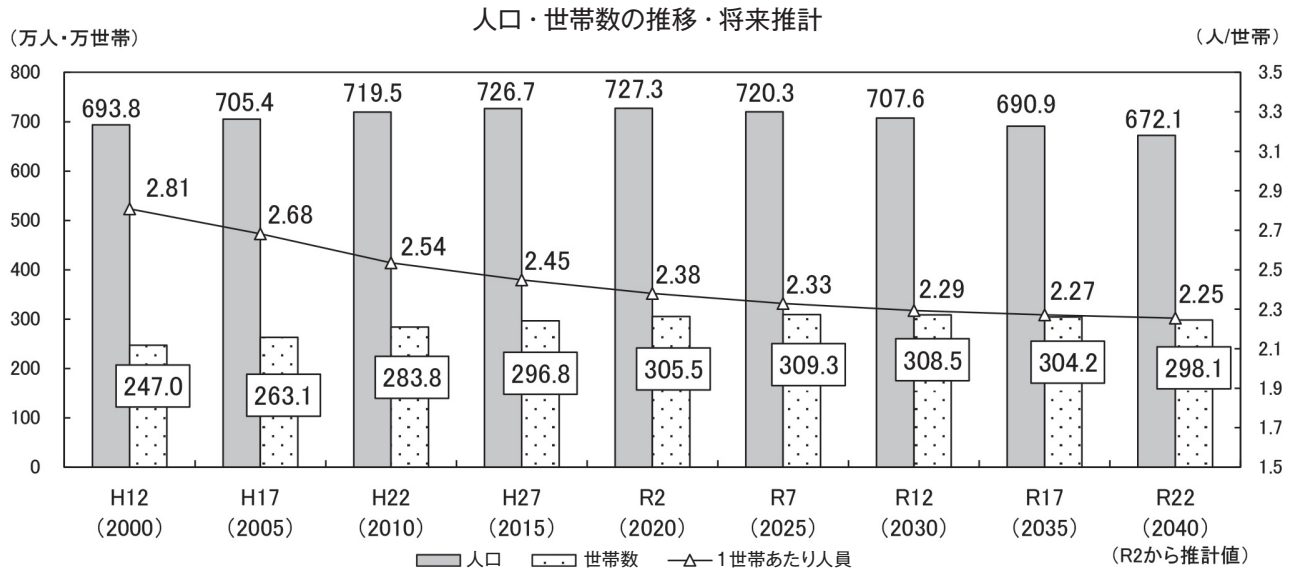
こうした住宅を取り巻く社会環境の変化などに対応し、県民の豊かな住生活の実現を目的として、良質な住宅と居住環境の形成、住生活の安定の確保など住宅施策を総合的に推進するため「埼玉県住生活基本計画」の見直しを行いました。

また、住生活基本計画の見直しに併せ、「埼玉県高齢者居住安定確保計画」及び「埼玉県賃貸住宅供給促進計画」を見直すとともに、これら３計画を取りまとめ、今後の住宅政策の総合的な計画としました。

## ❷ 埼玉県の住生活をとりまく状況

### ⑴人口・世帯数の減少

本県の人口は令和２年まで一貫して増加してきました。しかし、今後は減少に転じ令和１７年には７００万人を下回ることが予測されています。また、世帯数は令和７年に３０９万世帯でピークを迎えた後減少に転じ、令和２２年には３００万世帯を割り込む見込みです。



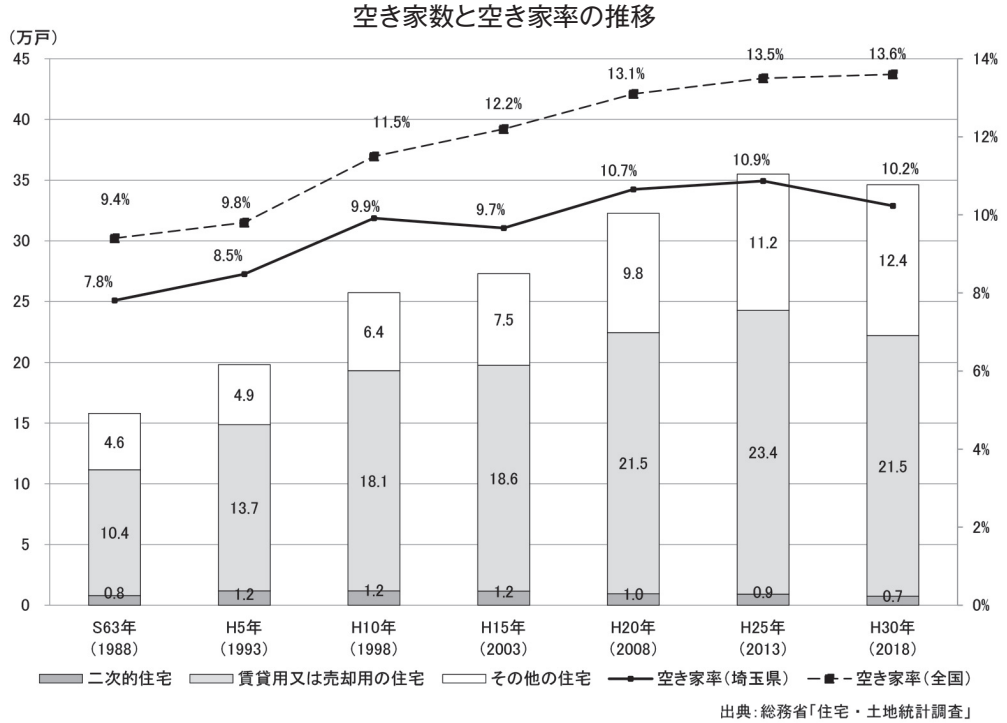

出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（平成 30（2018）年推計）、「日本の世帯数の将来推計（都道府県別推計）」（2019 年推計）

### ⑵空き家の状況

平成３０年の県内の総住宅数は３３８．５万戸と総世帯数を１割程度上回っています。

空き家戸数は３４．６万戸で全国８位、空き家率は１０．２％と全国で最も低い状況にあります。

このうち、二次的住宅、賃貸用の住宅及び売却用の住宅を除いた利用目的のない空き家は１２.４万戸と、増加傾向にあります。

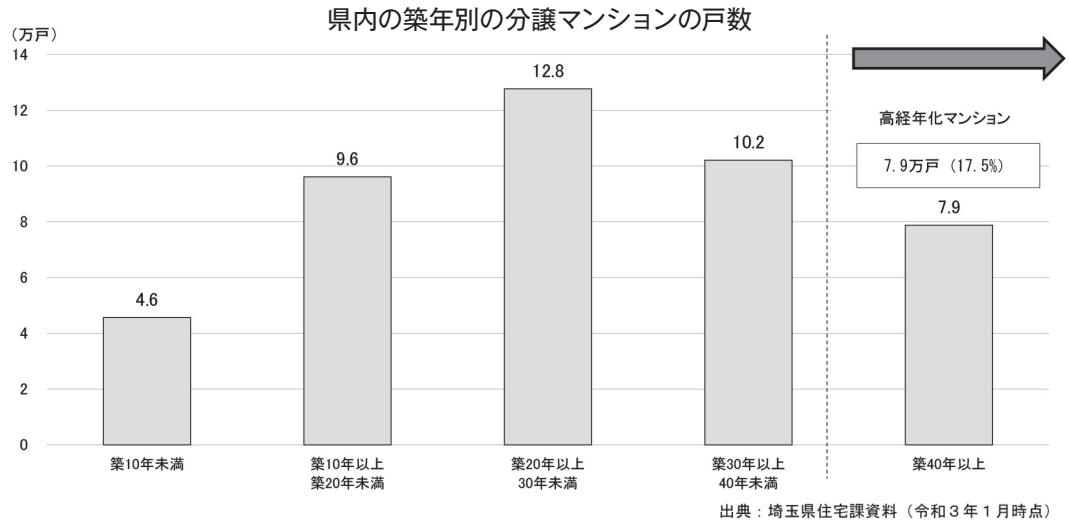



出典：総務省「住宅・土地統計調査」

### ⑶分譲マンション戸数の割合

本県の専用住宅数に占める分譲マンション戸数の割合は１３．６％となっており、県内の７世帯に１世帯が居住する重要な居住形態の一つです。特に県南地域でマンション化率が高く、４世帯に１世帯が分譲マンションに居住しています。

令和３年１月時点で県内の分譲マンションの戸数は約４５万戸であり、そのうち築４０年以上の高経年マンションは７．９万戸（分譲マンション全体の１７．５％）となっています。



出典：埼玉県住宅課資料（令和３年１月時点）

## ❸ 住宅政策の基本方針

基本的な方向性を示す住生活基本計画では、「コンパクト」「スマート」「レジリエント」の視点を取り入れ「誰もが安心して暮らせる、豊かな住生活の実現」を基本方針として掲げました。新たな時代の住宅政策として、「新しい住まい」「住まい手と地域」「つくり手と産業」の３つの視点から考えた「ＤＸの進展や「新たな日常」等に対応した新しい住まい方の実現」「子育てしやすい住まいの普及」など８つの目標を設定しました。

## ❹ 埼玉県住生活基本計画

### ⑴住宅の政策の視点と目標

**視点１　新しい住まいについて考える**

**目標1** **ＤＸの進展や「新たな日常」等に対応した新しい住まい方の実現**

**目標2** **災害に強いまちづくり**

**視点２　住まい手と地域について考える**

**目標3** **子育てしやすい住まいの普及**

**目標4** **多様な世代が支え合い、高齢者も健康で安心して暮らせるまちづくり**

**目標5** **誰もが安心して暮らせるセーフティネットの整備**

**視点３　つくり手と産業について考える**

**目標6** **脱炭素社会に向けた良質な住宅の普及と流通の促進**

**目標7** **空き家やマンションの適切な管理**

**目標8** **居住者の利便性や豊かさを向上させる住生活産業の発展**

### ⑵住宅政策の目標と施策、指標

本計画では、目標達成のため施策と指標を定めています。ここでは、埼玉県住生活基本計画のうち、（一社）埼玉県建設産業団体連合会の皆様と特に関連性の高い目標２、目標６～８を中心に主な施策と指標などの概要を御紹介します。

また、計画の期間につきましては、令和３年度から令和１２年度までの１０年間とし、施策の効果に対する評価を踏まえ、概ね５年後に見直します。

**目標2 災害に強いまちづくり**

**（主な施策）**

**1 風水害や土砂災害に備えたハザードマップの整備等**

- 災害による停電時等に住み続けられる住宅の普及を図るため、蓄電池やＶ２Ｈシステム、家庭用燃料電池の導入等の支援　など

**2 住宅密集地の改善の促進等**

- 住宅の建替えや改修に併せた耐震性の向上促進　など

**3 被災者の住まいの供給体制の強化**

- 市町村や災害時協定団体などと連携した迅速な応急修理の実施体制の整備　など

**（指標）**

● **耐震性を有しない住宅ストックの比率**

６．７％（令和２年度）⇒ 概ね解消（令和１２年度）

● **危険密集市街地の面積**

５４ｈａ（令和２年度）⇒ 解消（令和７年度）

● **改善計画を策定した住宅密集地の地区数**

７地区（令和２年度）⇒ ２０地区（令和１２年度）

**目標6 脱炭素社会に向けた良質な住宅の普及と流通の促進**

**（主な施策）**

**1 環境負荷の低減に資する長期優良住宅や省エネ住宅等の普及と住まい方の転換**

- 長期優良住宅、認定低炭素住宅、省エネ住宅、ＺＥＨやＬＣＣＭ住宅等の普及　など

**2 既存住宅を安心して購入できる環境整備と多様な住み替えの普及**

- 耐震性、瑕疵担保保険などの情報開示、マイホーム借上げ制度などの普及、既存住宅の流通促進など

**（指標）**

● **省エネ性能の高い長期優良住宅などの供給件数**

７０，６９５件（令和元年度）⇒ １５６，０００件（令和１２年度）

● **既存住宅の流通割合**

１４．３％（平成３０年）⇒ ２０％（令和１２年）

**目標7 空き家やマンションの適切な管理**

**（主な施策）**

**1 二地域居住など空き家の多様な利活用の促進**

- 空き家バンクの活用を通じ、県と市町村、民間団体等が連携したリノベーション等の促進　など

**2 空き家の適切な管理と流通促進、不良空き家の除却**

- 市町村による実態把握、所有者による適切な管理の促進、管理不全空き家の除却などの対策への支援　など

**3 高経年マンションなどの適切な管理・修繕の促進**

- マンション管理適正化推進計画の策定　など

**（指標）**

●「**利用目的のない空き家**」**数**

１２．４万戸（平成３０年）⇒ 令和１２年に１６．５万戸と推計される数を１４．１万戸程度に抑える

● **管理適正化推進計画が策定された市町村に立地するマンション戸数割合**
―（令和２年度）⇒ ７０％（令和１２年度）

**目標8 居住者の利便性や豊かさを向上させる住生活産業の発展**

**（主な施策）**

**1 住まいを支える多様な担い手の確保・育成**
- 建設時における施工や工事監理の省力化、維持管理におけるデジタル技術の導入　など

**2 住宅分野の生産性向上に資する新技術の普及**
- ＩＣＴやロボットなどを活用した施工・工事監理の省力化・効率化、センサーやドローン等新技術の活用促進　など

**（指標）**

● **リフォームの市場規模**
４，２０８億円（令和２年）⇒ ４，５００億円（令和１２年）

● **ＩＣＴ技術等の導入を行った公共工事件数**
０件（令和２年度）⇒ １５０件（令和１２年度）

### ⑶公営住宅の供給及び活用の方針

公営住宅が限られた財源の中で確実に住宅セーフティネットとしての役割を果たすため、公営住宅の供給及び活用の方針などを定めています。

### ⑷重点供給地域

地域の実情に応じた住宅及び住宅地の供給を進めていくため、「住宅の供給等及び住宅地の供給を重点的に図るべき地域（重点供給地域）」を指定しています。

## ❺ 目標の実現に向けて

「埼玉県住生活基本計画」、「埼玉県高齢者居住安定確保計画」及び「埼玉県賃貸住宅供給促進計画」の３計画で掲げる目標を達成するため、「民間事業者等との連携」、「分野を横断した総合的な取組」、「埼玉版スーパー・シティプロジェクトの推進」など６つの取組を定めています。

## おわりに

● **デジタルブックのご紹介**

これら住宅政策に密接に関連する計画の見直しに伴い、県民の皆様に見やすく分かりやすくお示しするために、デジタルブックを導入しました。

URL https://www.pref.saitama.lg.jp/a1107/kurashi/jutaku/kekaku/sekatsu/index.html

**問合せ先**　埼玉県　都市整備部　住宅課　企画担当
TEL **048−830−5571**（直通）

一般社団法人埼玉県建設産業団体連合会様　推薦

# 埼玉県内の電子入札用ICカードは AOSign（アオサイン） サービス

**AOSign サービスは日本電子認証が発行する電子入札用ICカードです**

**埼玉県や県内市町村など、公共発注機関の電子入札にご利用いただけます**

**発行シェア No. 1**

## 信頼の実績

おかげさまで累計発行枚数は**55万枚**を超えました。
電子入札コアシステム対応電子証明書では発行シェアNo. 1 ！

**発行スピード No. 1**

## 認証局最速

お申込書到着後、通常**５営業日以内**で発行しています
お急ぎの場合もお問い合わせください

**ヘルプデスクがサポート**

## はじめての方でも安心

申込手続きやパソコンの設定、操作中のエラー時にも安心
年間回答実績は10万件以上。親切丁寧をモットーにフリーダイヤルでお客様をサポートします

## はじめてご利用いただく企業様向け割引　実施中

はじめてお申込いただく
企業様限定
「アンケートご回答特典
初回とく割」

【1枚あたりの料金：税込】

| 有効期間 | 通常価格 | 割引後価格 | (プライスOFF) |
|---|---|---|---|
| **1年+30日** | 16,500円 → | **13,200円** | (▲ 3,300円) |
| **2年+30日** | 30,800円 → | **23,100円** | (▲ 7,700円) |
| **3年+30日** | 42,900円 → | **33,000円** | (▲ 9,900円) |
| **4年+30日** | 55,000円 → | **42,900円** | (▲ 12,100円) |
| **5年** | 66,000円 → | **51,700円** | (▲ 14,300円) |

割引券は弊社のホームページからダウンロードできます

## お問い合わせ先

日本電子認証株式会社
ヘルプデスク
**0120-714-240**
〒104-0045
東京都中央区築地5-5-12
（浜離宮建設プラザ３階）
https://www.ninsho.co.jp/aosign/

## お申込取次ぎ窓口

東日本建設業保証株式会社
埼 玉 支 店
TEL：048-861-8885
FAX：0120-027-336
〒330-0063
さいたま市浦和区高砂4-3-15
K・Sビル5階
＊お申込取次ぎ窓口でもお申込のご相談ができます

担い手確保
育成
corner
―1―

## 建築系学生奨励事業
# 第22回 卒業設計コンクール展 開催

埼玉建築設計監理協会の法人化３０周年を機に始まった卒業設計コンクール展は、一般社団法人へ移行した協会の主要な活動として位置づけられています。コンクールは、その趣旨に賛同いただいた多くの企業・団体、共催・協賛団体の協力により運営されています。

昨年は、コロナウイルス感染対策として、オンライン開催、公開Web審査を行いましたが本年は作品を展示し公開審査を行っております。１３の大学の学部から４１名が応募し、埼玉賞候補作品は１９作品、自由テーマの作品は２２作品となりました。

今後、埼玉県知事賞、準埼玉賞受賞の作品については、関連した自治体へのプレゼンテーションや展示を行う予定です。卒業設計での提案を基に、産官学が連携して地域の問題解決や賑わい創出ができることを期待しています。

□**開催主旨**

昨今の都市計画や建築デザインに於いても、ICT革命時代にふさわしい斬新な発想が求められています。そのような中、新しい時代の第一線で活躍が期待される建築系学生の能力向上、育成を図る目的で、次代を先取した意欲ある作品を募集し、若い学生達の考える創造価値と熱意を奨励します。特に、当協会としては、「埼玉」を分析し、再構築を試みることにより街づくりの活性化を図り、地域を変える起爆剤となるような夢溢れる作品を待っています。

□**テーマ、募集作品**

**（1）埼玉をテーマとした作品**（埼玉県知事賞対象候補）

**（2）自由テーマの作品**

上記の分類による都市や建築デザインをテーマとした個人作品の卒業設計を対象とします。

□**受賞者および作品**

**埼玉県知事賞**　**1作品**…テーマ(1)の作品の中で最も優れた作品
（副賞として海外研修旅行目録・30万円相当）

**準埼玉賞**　**1作品**…テーマ(1)の作品の中で優れた作品（副賞として5万円相当の目録）

**埼玉建築設計監理協会賞**　**1作品**…募集作品の中で最も優れた作品（埼玉県知事賞受賞作品を除く）
（副賞として海外研修旅行目録・20万円相当）

**準埼玉建築設計監理協会賞**　**1作品**…募集作品の中で優れた作品〔埼玉県知事賞受賞作品を除く〕
（副賞として5万円相当の目録）

**＜全作品対象＞**

**特別審査員賞**　**3作品**…各大学の先生による審査とします（副賞として3万円相当の目録）

**埼玉県住宅供給公社賞**　**1作品**…まちづくりを題材とした作品（副賞として3万円相当の目録）

**さいたま住宅検査センター賞**　**2作品**…住宅を題材とした優れた作品（副賞として5万円相当の目録）

**ＪＩＡ埼玉賞**　**3作品**…優秀な提案、建築家に相応しい作品（卒業設計を行った年度の大学学科の所在地が埼玉県内である応募者の中で優れた作品は本人の意思の確認の上、JIA主催全国学生卒業設計コンクールに3作品程度推薦します。）
JIA埼玉賞はJIA埼玉会員が独自に選出し、1次審査を書類選考、2次審査をオンラインによるプレゼンテーションにより選考いたします。

**総合資格学院賞**　**2作品**…社会に飛び出す若駒のエネルギッシュな作品（副賞として5万円相当の目録）

**日建学院賞**　**2作品**…来場者の投票により選ばれた作品（副賞として5万円相当の目録）

**奨励賞**　**適宜**

□**審査員**　作品出展校から各学部の先生1名、埼玉県（1名）、さいたま市（1名）
（一社）日本建築学会関東支部埼玉支所（1名）、（一社）埼玉建築士会（1名）、
（一社）埼玉県建築士事務所協会（1名）、（公社）日本建築家協会埼玉地域会（JIA埼玉）（1名）
（一社）埼玉県建設産業団体連合会（1名）、埼玉県住宅供給公社（1名）
（一財）さいたま住宅検査センター（1名）、当協会賛助会員（1名）、当協会会員より数名

□**主催**　（一社）埼玉建築設計監理協会

**共催**　（一社）日本建築学会関東支部埼玉支所、（一社）埼玉建築士会、（一社）埼玉県建築士事務所協会
（公社）日本建築家協会埼玉地域会（JIA埼玉）、（一社）埼玉県建設産業団体連合会
埼玉県住宅供給公社、（一財）さいたま住宅検査センター

**協賛**　（一社）日本建築学会埼玉支所、（一社）埼玉建築士会、（一社）埼玉県建築士事務所協会
（公社）日本建築家協会埼玉地域会（JIA埼玉）、（一社）埼玉県建設産業団体連合会、埼玉県住宅供給公社
（一財）さいたま住宅検査センター、（一社）埼玉県建設業協会、（一財）埼玉県建築安全協会
㈱オキナヤ、生和テクノス㈱、松坂屋建材㈱、四国化成工業、総合資格学院、日建学院
大成建設㈱、和光建設㈱、大野建設㈱、㈱田中工務店、柏木建設㈱、吾妻工業㈱、㈱佐伯工務店、
㈱島村工業

**後援**　埼玉県、さいたま市、テレビ埼玉

# 埼玉県知事賞
# JIA埼玉最優秀賞

日本工業大学建築学部建築学科　髙宮　弥

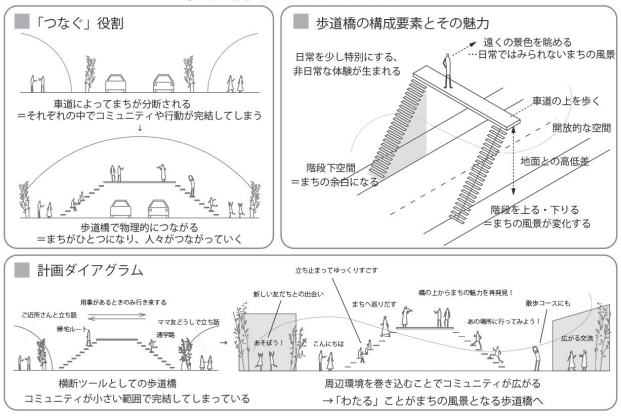
## わたる、であう、つむぐ。歩道橋がつくるまちの新たな風景

さまざまな背景から、利用率が低下し各地で撤去されている歩道橋。渡るだけのものとして不要とされているが、捉え方を変えると、まちをつなぐ役割や立体的な道として空間の魅力に溢れている。3つの現存する歩道橋を再編し、周辺環境を巻き込みながらまちの居場所となるような歩道橋のあり方を提案する。まちの要素や魅力を取り込んだ歩道橋を渡ることで、さまざまな出会いが生まれ、人々をつなぎ、まちの風景をつむいでいく―。

### わたる、であう、つむぐ。
歩道橋がつくるまちの新たな風景

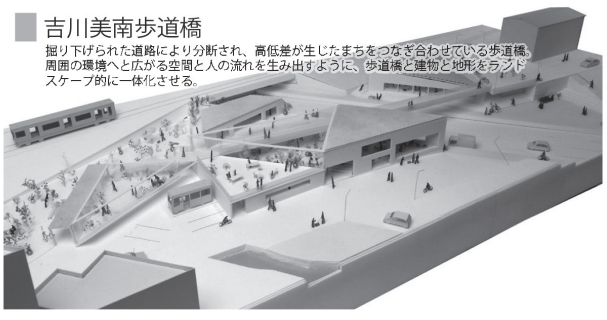
誰もが一度は目にしたことのある、「歩道橋」
しかし近年その利用率は低下し、老朽化やバリアフリー化に伴って各地で撤去の動きが広まっている。
渡るものとしての歩道橋が不要とされている背景から、
周辺環境を巻き込みながらまちを再編するような歩道橋のあり方を提案する―。

### 歩道橋のポテンシャル



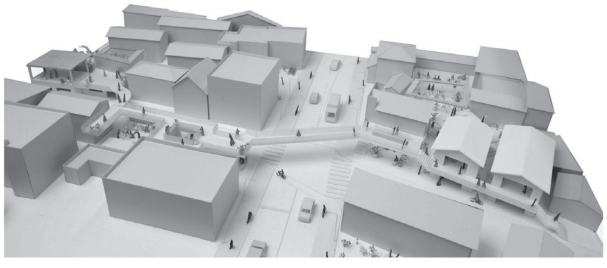

### 吉川美南歩道橋

掘り下げられた道路により分断され、高低差が生じたまちをつなぎ合わせている歩道橋。
周囲の環境へと広がる空間と人の流れを生み出すように、歩道橋と建物と地形をランドスケープ的に一体化させる。



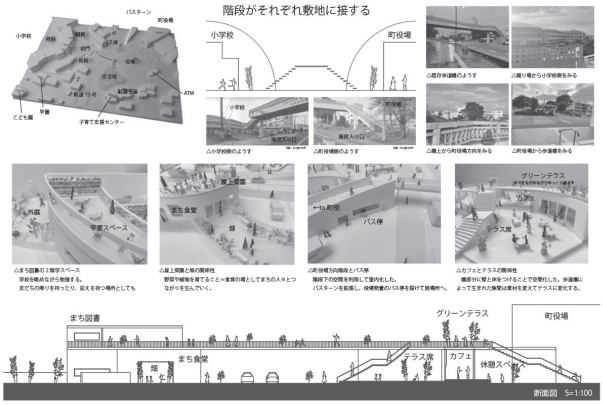
### 越谷３丁目歩道橋

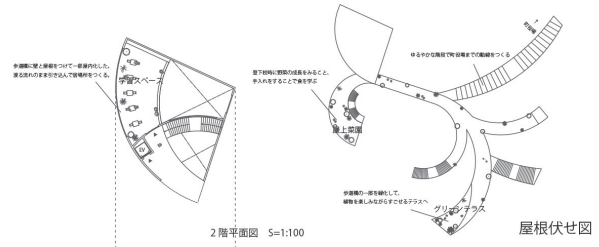
このまちには、古い商店や工場、新築の住宅やアパートなど多様な建物と人々が共存しているものの、まちとしてのつながりが薄れてしまっている。住宅間や空き地の抜け道を歩道橋とともに再編することで、小さな居場所を巡りながらまちの人々とつながる場を作り出す―。

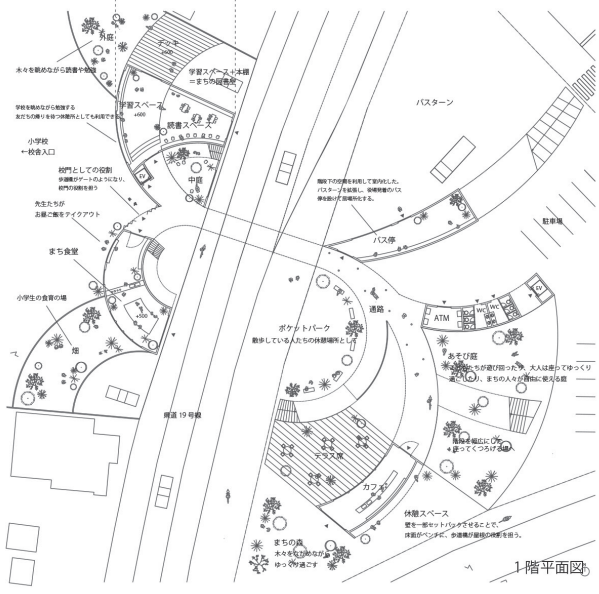


### 松伏歩道橋

階段がそれぞれ小学校と町役場の敷地内に設けられている歩道橋。
より積極的に両者の関係をつくるように枝分かれさせ、バス停やカフェ、小学校の校門や図書・学習スペースなどの居場所をつくる。



# 埼玉建築設計監理協会賞

工学院大学建築学部建築デザイン学科　冨田 奈々

## 街の人がつくる予防医療の学校

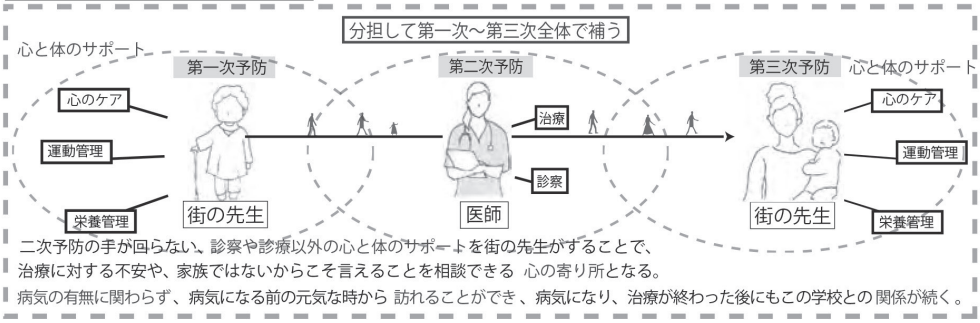
本来、予防医療には病気になる前の一次予防、病気になっているときの二次予防、病気が回復した後の三次予防の三段階がありますが、現在は病院が担う二次予防が主流です。しかし、医師や看護師は治療や診察で手いっぱいで、心のケアや運動管理、栄養管理といった日常的な生活のケアには手が回らないのが現状です。

そこで「街の人がつくる予防医療の学校」を提案します。

それは、医師とは違った健康に詳しい「街の先生」から教えてもらうことで、一次予防や三次予防へとつなぎつつ、ここに集まる人たちがお互いに気に掛ける関係を築き、いつでも気軽に行きたくなるような人と場所がある、街の学校です。予防医療が日常生活に組み込まれた身近なものとなり、患者が主体的に学ぶことが出来る場所となります。

### 予防医療を見つめ直す

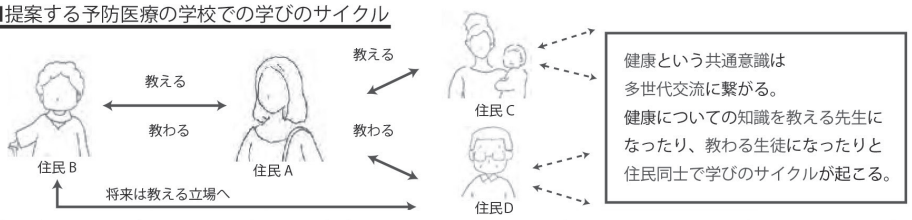
■提案する予防医療の学校との関係



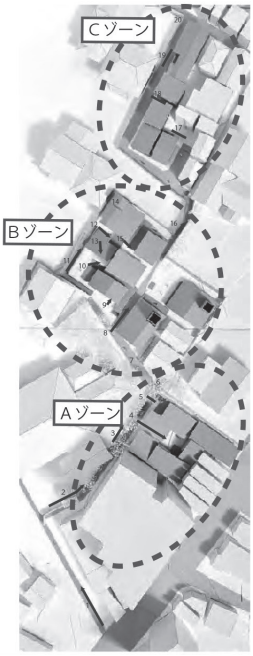

二次予防の手が回らない、診察や診療以外の心と体のサポートを街の先生がすることで、
治療に対する不安や、家族ではないからこそ言えることを相談できる 心の寄り所となる。
病気の有無に関わらず、病気になる前の元気な時から 訪れることができ、病気になり、治療が終わった後にもこの学校との関係が続く。

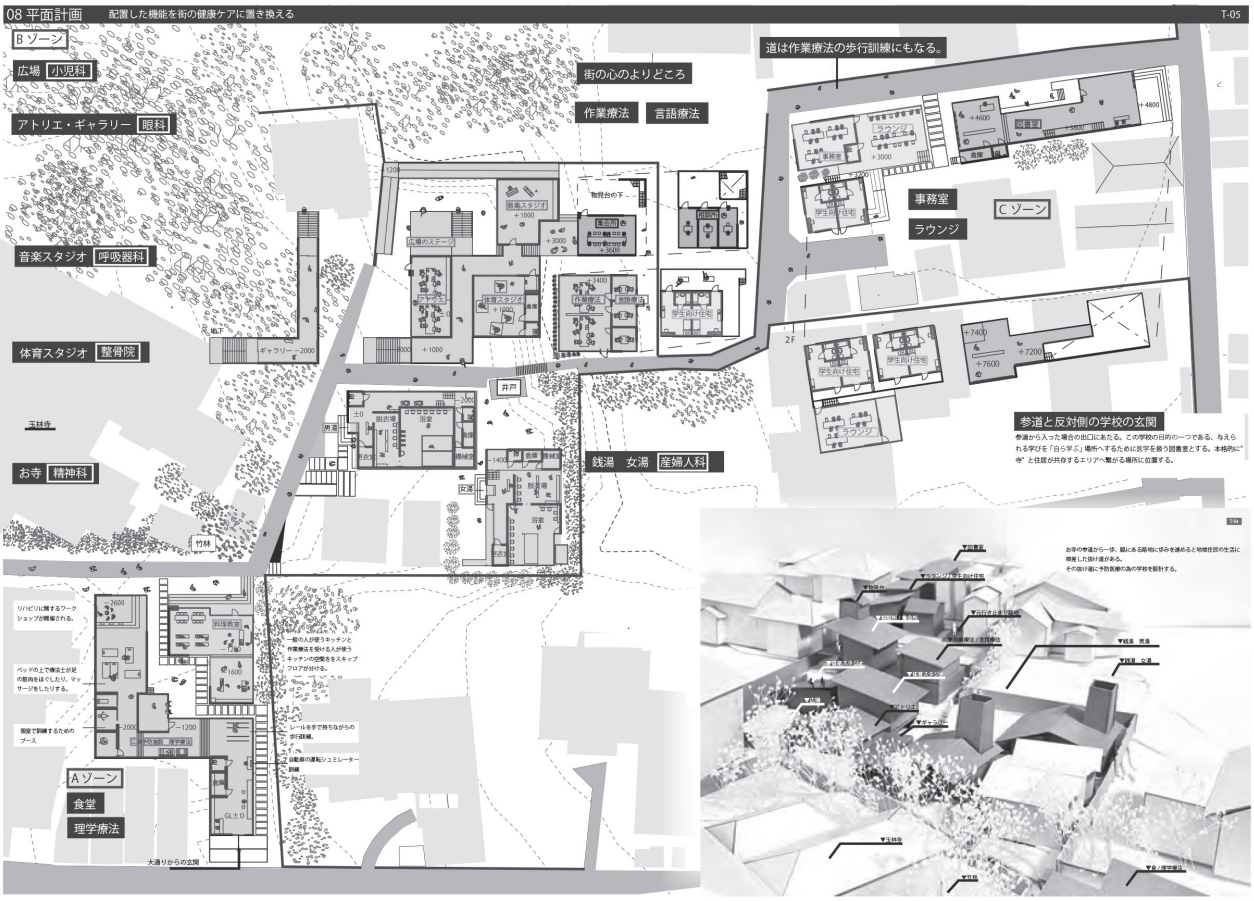
### 住民による学びの連なり

■提案する予防医療の学校での学びのサイクル




健康という共通意識は
多世代交流に繋がる。
健康についての知識を教える先生に
なったり、教わる生徒になったりと
住民同士で学びのサイクルが起こる。



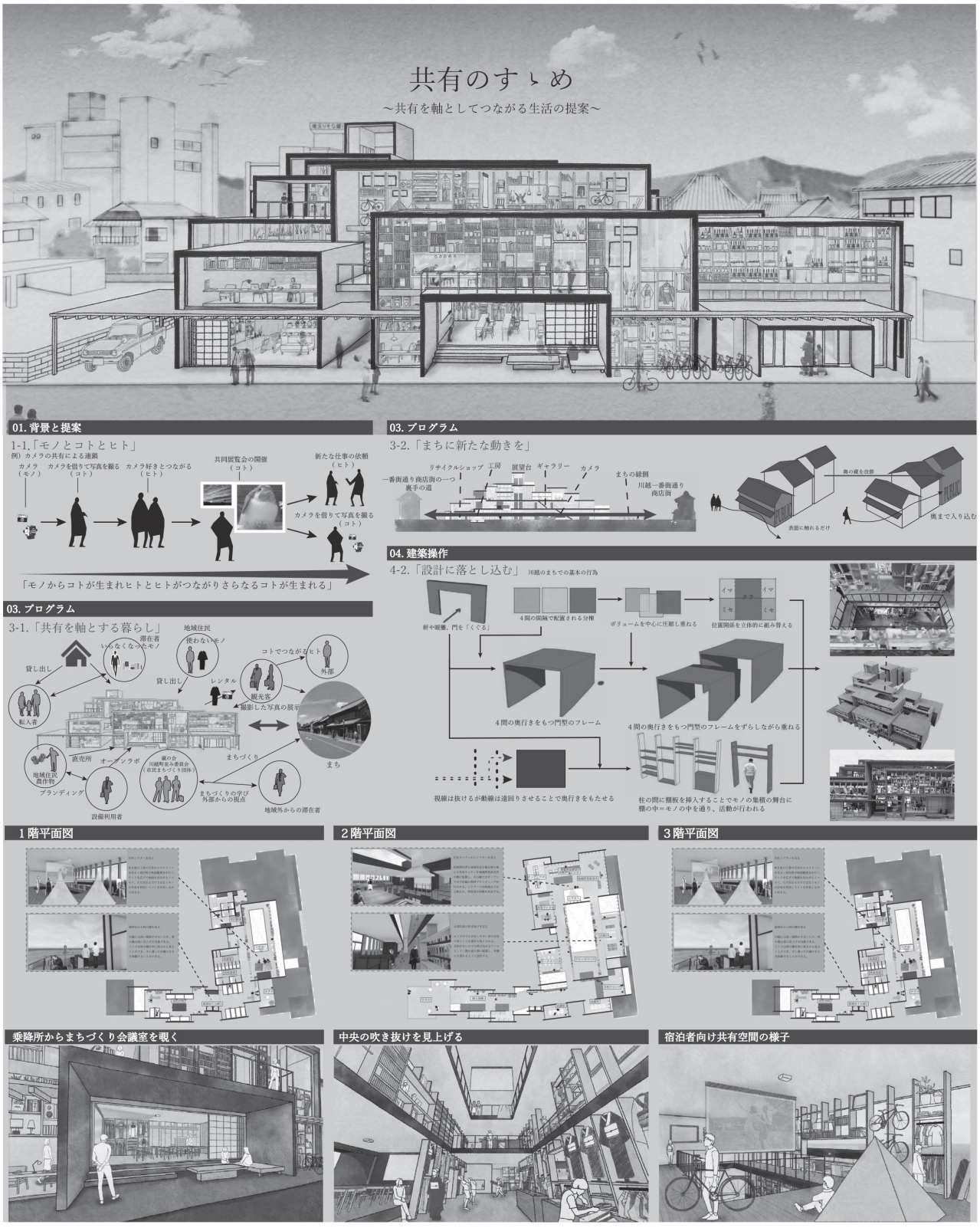
## 準埼玉賞

東京電機大学未来科学部建築学科　今井　元

### 共有のすゝめ～共有を軸としてつながる生活の提案～

所有や消費が豊かさであった時代は、モノを大量に生産し、大量に消費することで人生の豊かさが生まれてきたが、体験や経験が人生の豊かさとなった現代において、それらはどのように生まれどのように広がっていくのだろうか。

本提案では利用できるモノの選択肢を広げることがコトの選択肢を広げ、コトを通じてヒトがつながり、その先でまた新たなコトを生み出すと考え、蔵造りの町並みという「モノ」から観光という「コト」を生み出してきた埼玉県川越市を舞台に、川越のまち並みの再考を行うと共に、それらの連鎖の始まりである「モノの選択肢を広げること」＝「モノを共有する生活」を支える建築を設計する。

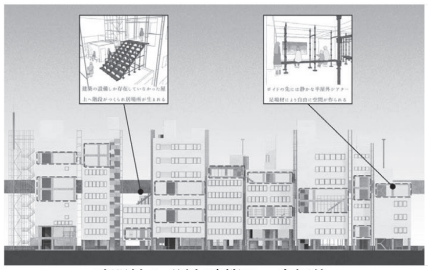


# 準埼玉建築設計監理協会賞

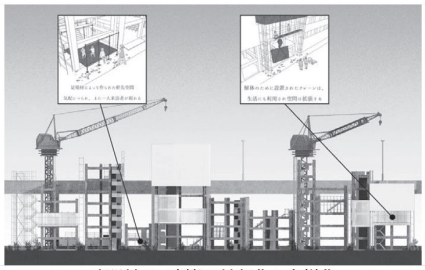
東京電機大学未来科学部建築学科　山内 峻平

## トリムールティ建築手法
### —解体プロセスの再設計による向環境的建築への転化—

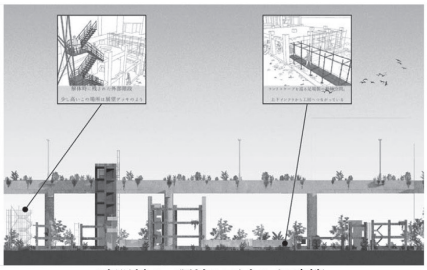
建築は社会のインフラであるとした視点から、未来の社会、人、建築へ向けた建築の更新（長期的な解体）を提案する。解体プロセスの再設計により、建築利用は段階的に変化。時間をかけて空間は多様化し、向環境的建築へと転化していく。これより建築は創造・維持・破壊が混在した空間となり、多様な空間利用が想定されることから本提案を向環境的建築へのケーススタディと位置づけ、設計を行った。



時間軸１：既存建築の一次解体



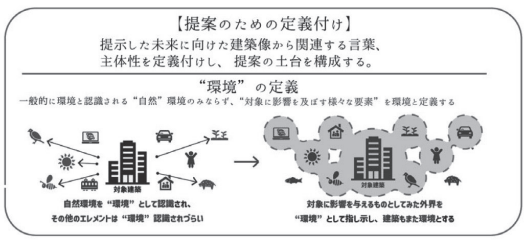
時間軸２：建築の外部化と多様化

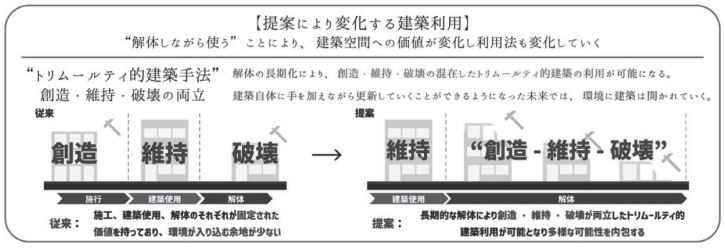


時間軸３：環境と両立した建築

## 1：未来へ向けた建築の更新

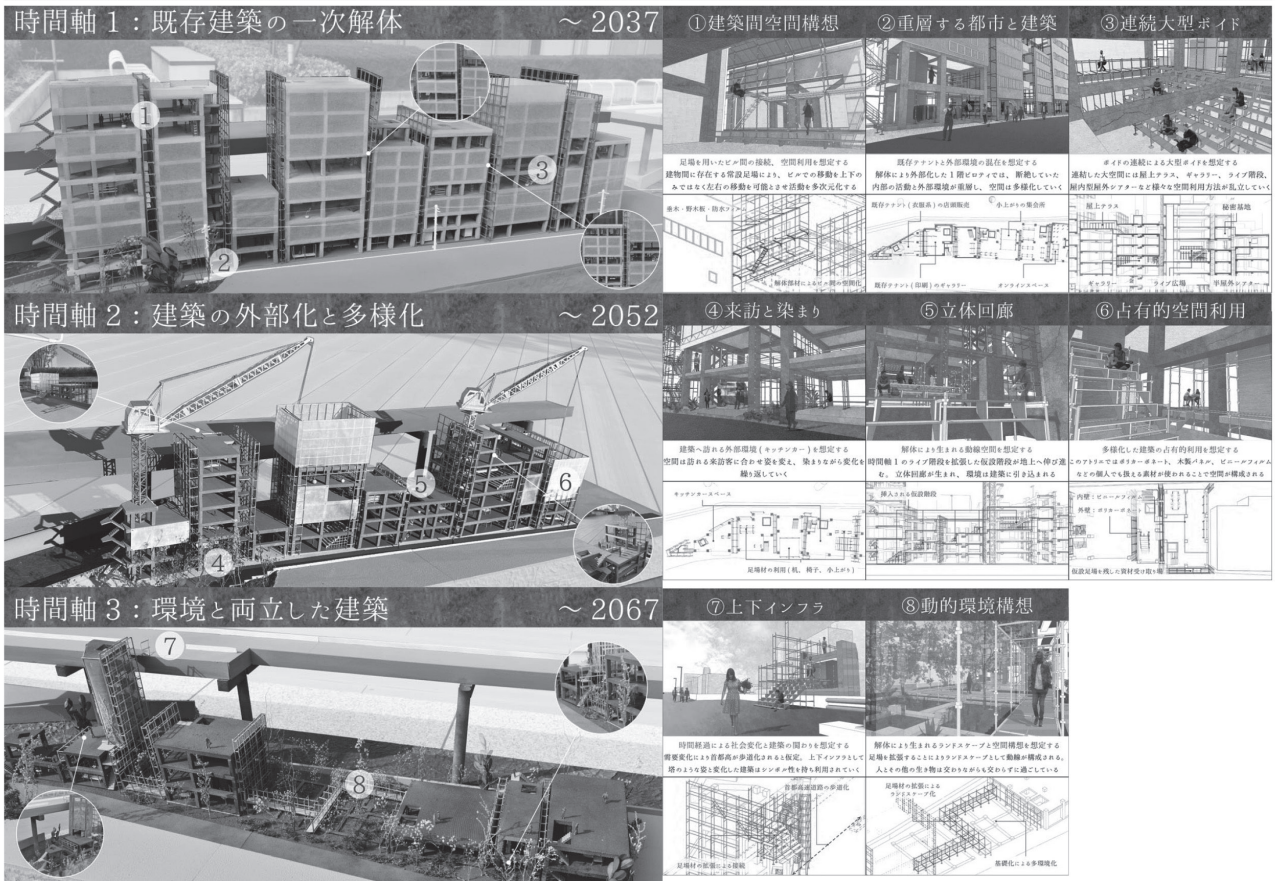
建築は社会のインフラであるとした視点から、未来の社会、人、建築へ向けた建築の更新（長期的な解体）を提案する。




## 3：トリムールティ的空間利用

解体プロセスの再設計により、建築利用は段階的に編か。時間をかけて空間は多様化する。



# 受賞者ならびに出品者

| | | |
|---|---|---|
| 埼玉県知事賞<br>ＪＩＡ埼玉最優秀賞 | 髙宮　弥 | **日本工業大学建築学部建築学科**　わたる、であう、つむぐ。 歩道橋がつくるまちの新たな風景 |
| 準埼玉賞 | 今井　元 | **東京電機大学未来科学部建築学科**　共有のすゝめ～共有を軸としてつながる生活の提案～ |
| 埼玉建築設計監理協会賞 | 冨田　奈々 | **工学院大学建築学部建築デザイン学科**　街の人がつくる予防医療の学校 |
| 準埼玉建築設計監理協会賞 | 山内　峻平 | **東京電機大学未来科学部建築学科**<br>トリムールティ建築手法 ―解体プロセスの再設計による向環境的建築への転化― |
| 特別審査員賞 | 岩崎　涼香 | **工学院大学建築学部建築デザイン学科**<br>つなぐしま - 琵琶湖に浮かぶ聖地竹生島と隠れ里菅浦で人々の拠り所を作り出す - |
| 特別審査員賞 | 菅野　颯太 | **日本工業大学建築学部建築学科**　新・多摩木材センター　木にまつわるなりわいを学び、育む場 |
| 特別審査員賞 | 須永　月乃 | **ものつくり大学技能工芸学部建設学科**<br>A TSU RA E R Up Cycle　- 埼玉県加須市の古民家の継続的改修計画 - |
| 埼玉県住宅供給公社賞 | 山岸　幹子 | **実践女子大学生活科学部生活環境学科**　イヤホンで紡ぎ出す ～歩みと共に広がる空間～ |
| さいたま住宅検査センター賞 | 天野　稜 | **芝浦工業大学建築学部建築学科**<br>草加市役所コンバージョン計画　- 旧宿場町ならではのハイブリッド建築の提案 - |
| さいたま住宅検査センター賞 | 池田　里穂 | **実践女子大学生活科学部生活環境学科**　エアプレーンサウンドスケープ |
| ＪＩＡ埼玉優秀賞 | 井上　紗慎 | **芝浦工業大学システム理工学部環境システム学科**<br>移りゆく風景と水族館　―場所性の再編による「伊豆・三津シーパラダイス」改修計画」― |
| ＪＩＡ埼玉優秀賞 | 中山　涼雅 | **日本工業大学建築学部建築学科**　ケモゴヤとサシカケ　燻煙乾燥文化がつなぐマチとムラの暮らし |
| 総合資格学院賞 | 浦上　龍兵 | **ものつくり大学技能工芸学部建設学科**<br>RE:VER. 川の記憶媒体としての Film　元荒川を軸とした地域活性化計画 |
| 総合資格学院賞 | 小森　佳佑 | **芝浦工業大学システム理工学部環境システム学科**　新海景　―漁港がもたらす海辺の賑わい空間― |
| 日建学院賞 | 川島　一純 | **東洋大学理工学部建築学科**　街の骨格に織りなす |
| 日建学院賞 | 横田　仁哉 | **芝浦工業大学システム理工学部環境システム学科**<br>動的秩序の現れ　- オープンスペースを主体とした都市の代謝手法 - |
| 奨　励　賞 | 石村真祐子 | **日本大学生産工学部建築工学科**　檜玄木舎 - 大径材から森林とまちを繋ぐ木の学舎 - |
| | 岩﨑　壱成 | **日本工業大学建築学部建築学科**　リムーバブルヴィッラ　建築学生がつくって暮らすパラサイトルーム |
| | 岩渕　拓真 | **東京電機大学未来科学部建築学科**　纏わるる螺旋塔 |
| | 奥墨　鴻太 | **東洋大学理工学部建築学科**　窓と暮らす　- 現代都市の集合住宅における境界の再考 - |
| | 川原　隆平 | **日本大学生産工学部建築工学科**　天を仰ぐ　～最期に踏んだ土地～ |
| | 木田　琉誓 | **日本大学生産工学部建築工学科**　地を纏う庁舎～市役所を開き市民の集う場所へ～ |
| | 小松　奎瑚 | **東洋大学理工学部建築学科**　土を感じる　左官伝承 |
| | 櫻井　葉菜 | **ものつくり大学技能工芸学部建設学科**　埼玉県鴻巣市の防災拠点を活用した避難所計画 |
| | 重松　慧 | **東京電機大学理工学部理工学科**<br>都市型寺院プロジェクト　現代都市における地域と寺院の新たな関係の構築 |
| | 嶋﨑　敦也 | **東京電機大学未来科学部建築学科**　蝙蝠観覧空中庭園 |
| | 清水　拓真 | **日本大学生産工学部建築工学科**　味わう。～越谷駅歴史的空間再編計画～ |
| | 末久　公平 | **ものつくり大学技能工芸学部建設学科**　フィリピンの水害多発地域におけるスカベンジャーのための施設 |
| | 髙橋　恒洋 | **日本工業大学建築学部建築学科**　離島に潜む建築の可能性　喜界島の伝統・風土を継承し次世代に繋ぐ |
| | 千葉ほのか | **東洋大学ライフデザイン学部人間環境デザイン学科**　Living Gardens |
| | 轟　花弥 | **実践女子大学生活科学部生活環境学科**　２種のユニットを行き交う生活 |
| | 平田　凌雅 | **東洋大学理工学部建築学科**　四面看板建築　- 建築の自律性と他律性の複合的思考 - |
| | 廣田　紫苑 | **ものつくり大学技能工芸学部建設学科**<br>寄生者たちのコロニー　東京都練馬区の生産緑地跡における集合住宅の提案 |
| | 松下　優希 | **日本大学生産工学部建築工学科**　降り注ぐ厄災の記憶～東京大空襲を忘れない～ |
| | 松本　大輝 | **東洋大学ライフデザイン学部人間環境デザイン学科**　輪廻転生 |
| | 三森　公威 | **ものつくり大学技能工芸学部建設学科**　共働　ーケヤキ― |
| | 山﨑　崇平 | **芝浦工業大学システム理工学部環境システム学科**　農と人の再育所 |
| | 山田ちなつ | **日本工業大学建築学部建築学科**　みんなのみなの憩いの場　- 日野沢小学校跡地広場再考計画 - |
| | 吉田　豊 | **日本大学生産工学部建築工学科**　転変の段　- ベッドタウンの駅前シンボルの再生 - |
| | 四方　千尋 | **東京理科大学理工学部建築学科**　路地に広がるこどもの居場所 |

## 第21回卒業設計コンクール展受賞者寄稿

# フランス研修記

東洋大学 ライフデザイン学部
人間環境デザイン学科 2021 卒
**磯永　涼香**

## はじめに

2021 年 11 月 30 日から二カ月間フランス（パリ）へ渡航しました。卒業設計コンクールで頂いた研修費用を有意義に使うため、コロナ禍での海外インターンシップを実施しました。以前から興味のある①フランスの街並みを研究すること、②海外建築事務所でインターンシップを体験し「働くとは何か」を思考すること、③新たな視点・知見を広げること、以上三点を研修目的としました。

今回の研修旅行では、ウィズコロナ時代のフランスと日本の生活、新型コロナウイルス蔓延に対する国の動き、働き方や働くことへの考え方、街並みの形成のされ方など、様々な日本との「違い」を身を持って学ぶ研修となりました。建築や街のスケール感やボリューム感、背景、空気感、香りなど、五感を働かせて体験できたことは非常に大切な財産になりました。ここでは、フランスの街、インターンシップ、新しい建築スポットについて、掲載させていただきます。

## フランス共和国

首都：パリ
人口：約 6775 万人 (2019 年 1 月時点 )
面積：約 55 万キロメートル　日本の約 1.5 倍
公用語：フランス語

Suzuka Isonaga
**磯永　涼香**

はじめて一人で海外に行きました。臆病ながらも、多岐にわたる好奇心と行動力には自信があります。現在、絶賛就職活動中です。
inst : @suu_recollection / @suu_tokimeki
mail : suzukaisonaga2021@gmail.com

| | |
|---|---|
| 1998.11 | 東京都足立区に生まれる |
| 2017.04 | 東洋大学ライフデザイン学部人間環境デザイン学科入学<br>櫻井義夫研究室在籍 |
| 2021.03 | 卒業設計コンクールにて埼玉建築設計監理協会賞を受賞 |
| 2021.04 | 東京理科大学大学院　理工学研究科建築学専攻　入学<br>西田司研究室在籍 |
| 2021.11-<br>2022.01 | フランス研修 (2 ヵ月 )　田根剛設計事務所インターンシップ<br>隈研吾事務所 ( パリ ) インターンシップ |

# フランスの街

▲フランスマップ

様々な地域のフランスの街並みを調査したかったため、フランス各地に移動し、視察を行い、街ごとによる違いを比較検討した。地域によって素材・雰囲気・色合いなどが全く異なり日本とは異なる街並みの形成のされ方が興味深いと感じた。ここでは訪れた中でも特徴のある６つの地域を厳選し掲載する。

1_ カオール
2_ トゥールーズ
3_ サン・ギレム・ル・デゼール
4_ グリモー
5_ヴィルフランシュ・シュル・メール
6_ コルマール

※新型コロナウイルス感染防止を最大限に考慮し、すべての移動をレンタカーとしたうえで、飲食店等には一切入らず、人との接触を可能な限り避けました。（完全なバブル方式）

## カオール（Cahors）

サンティティエンヌ大聖堂

ロット川に反射する美しい街並み

ヴァラントレ橋

カオール旧市街

カオールの旧市街は、ロット川沿いの半島に建てられ、通りや建築物には心地よい雰囲気がある。急な丘や石灰岩の乾燥丘に囲まれ、ロット川の曲がりに囲まれた都市は、古代や中世から多くのモニュメントが豊富。町全体は、色素の薄めの白・薄茶色・クリーム色で構成されたイメージ。旧市街地はさほど広くなく、早朝に一時間程度で散策できる規模だった。ヴァラントレ橋は世界遺産であり、旧市街の街並みと調和していて美しい。

## トゥールーズ（Toulouse）

焼いたレンガが印象的な路地

ポン・ヌフ橋（1543 年）

キャピトル広場

赤レンガとテラコッタ瓦の建物が多いことから、別名バラ色の都市と呼ばれる。フランスの建築物は、一般的にライムストーン（石灰岩）を用いられることが多いが、トゥールーズ周辺には適した石切り場がないため、焼いたテラコッタ・レンガを積み重ねて資材としたためである。バラのような赤・オレンジ・ピンク色で構成された町並みでどこか落ち着くような印象を受けた。

赤い教会
（トゥールーズサンセルナン教会）

## サン・ギレム・ル・デゼール
(Saint-Guilhem-le-Désert)

泉（1907 年）
村の象徴であるプラタナスの樹を囲って人々が集まる

お店が立ち並ぶ広場

小さな扉や窓の印象的な路地

フランスの最も美しい村（※）に選ばれた街。樹齢 150 年を超えるプラタナスの樹が魅力的な自由の広場が、村の中心にある。樹の足元には 1907 年に造られた泉が設置され、アーケードが立ち並ぶ 18 世紀の屋根付きの昔からの市場が周囲を取り囲んでいる。広場では住民が団らんしており、居心地の良い空間が形成されている。町全体のカラーは素朴なクリーム・橙・茶色。

※フランスの田舎の小さな村の歴史遺産の価値の向上や保護を目的とし、厳しい条件をクリアした村が「フランスの最も美しい村」として認定されている。

## グリモー（Grimaud）

街の中の小さな広場と、木の周りで談笑する人々。

シンメトリーの泉

丘の上に建つグリモー城跡

コートダジュールにある中世の城（グリモー城）を中心としたグリモーの村落。丘の上に 11 世紀に建てられた歴史的建造物である城があり、城壁・古い小屋が一部残されている。丘からは美しいのどかな景色を望むことができる。町全体の建物は暖かな黄色い色合いで統一されている。
地中海地方のぽかぽかとした陽気が心地よく、広場のベンチでは住民が談笑していた。

グリモー城からの景色

## ヴィルフランシュ・シュル・メール
(Villefranche-sur-Mer)

まるで太陽のような橙や黄色が際立つ、海沿いの街。

路地が縦横無尽に走る

町全体が明るい配色で包まれている

コート・ダジュール地方の地中海に面した港町。港通りから奥は中世の面影が残る旧市街で、坂道をのぼると、建物の間から地中海の絶景が広がる。旧市街は、曲がりくねった石畳の小路と、自動車の乗り入れが制限された路地とで込み入った迷宮のようになっている。オレンジ・黄を中心としたはっきりとした色合いの目立つ外壁と、海の青さとの対比がこれ以上に無く、美しい。

坂道を振り返ると地中海

## コルマール（Colmar）

パレットのようなカラフルな色合いが、この街の華やかさを際立たせる

木組みの家（コロンバージュ）と

美女と野獣など様々な作品の舞台

フランス東部アルザス地方にある町。フランスでありながらアルザス地方特有のドイツらしさを残したコルマールは、中世の趣きを残す美しい街並みが残されている。フランスで最も木組みの家が見られるのがアルザス地方で、これらの地方ではコロンバージュと呼ばれる。青・黄・緑・赤など寒色暖色問わず様々な色合いで彩られる外観は、つい目を奪われる。

ハウルの動く城のモデルとなった建物

# インターンシップ

パリにある建築事務所（田根剛設計事務所・隈研吾事務所）2カ所で短期インターンシップを実施した。そこでは日本とフランスでの働き方の違いを痛感した。2つの事務所の共通点は、役職関係なく多くの所員が一つの大きなテーブルに集まりランチタイムを楽しんでいたこと、仕事とプライベートを明確に分け、双方を両立させる時間の使い方をしていたことだ。共に日本人建築家の事務所であるため、日本での働き方と共通する部分も多いが、根本的な仕事の捉え方がわずかに異なるように感じた。プロジェクトにも密に関わることができ、価値のある充実したインターンシップとなった。

## 田根剛設計事務所
Atelier Tsuyoshi Tane Architects ATTA

住所　　：104 rue Oberkampf F-75011 Paris France
実習期間：2021 年 12 月 03 日（金）～ 12 月 22 日（金）
2週間のインターンシップに参加。私は、東京都にある某住宅のプロジェクトに参加し、スタディ模型制作・ミーティング参加・データ制作（auto cad, adobe illustrator）を行った。

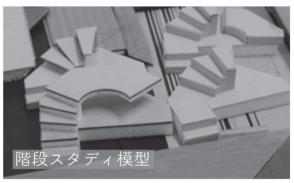
現地のインターン生や社員の方と食べる昼食。

田根剛さんとの記念写真

模型作業風景

制作した住宅模型（1/50）

インターンシップ内容：
スタディ模型制作（1 :100）、ミーティング参加、データ制作（auto cad, adobe illustrator）


階段スタディ模型

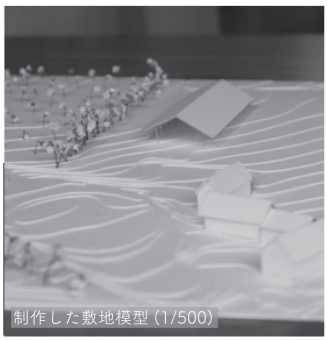
## 隈研吾事務所
KUMA&ASSOCIATES EUROPE

住所　　：104 rue Oberkampf F-75011 Paris France
実習期間：2022 年 1 月 3 日（月）～ 1 月 21 日（金）
3週間のインターンシップに参加。フランス北西部ノルマンディ地方にある日仏の歴史的な構法をハイブリッドさせることをコンセプトとした商業施設のプロジェクトに参加し、敷地模型製作・ライノセラスデータ作成・ミーティング参加などを行った。

同じ修士課程でインターン生であるみんなと食べる昼食。

隈研吾事務所（内観）

パソコンでの作業風景

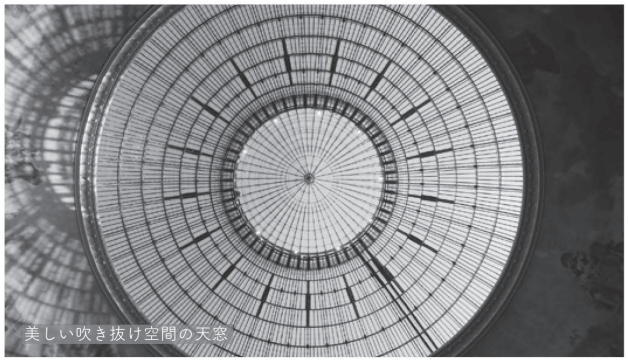

制作した敷地模型（1/500）

インターンシップ内容：
模型製作（1/500）、模型梱包作業、データ整理（ライノセラス）、模型材料買い出し、プロジェクト内容把握、施主とのミーティング参加（2 時間）

敷地写真

# パリ最新建築事情

2021 年に完成した新しいパリ建築のコンバージョンとリノベーションを紹介。


美しい吹き抜け空間の天窓

正面ファサード。1889 年にパリ万博にてコリント様式の円柱と彫刻が増築。

## ブルス・ドゥ・コメルス
BOURSE DE COMMERCE

安藤忠雄の最新作である美術館。18 世紀に穀物等の貿易商品の取引所として建設された歴史的建造物を美術館へコンバージョンした。神殿のようにも見える円形の建物で、中央の大きな吹き抜けの空間に、安藤忠雄らしい打ちっぱなしのコンクリートでできた円筒がそびえ、その周りを展示室が取り囲む形となっている。暖かな天然光が差し込むこのガラスと鉄の天井（クーポール）と、それを彩る壁画が美しい。
設計：安藤忠雄　用途：美術館

## サマリテーヌ
La Samaritaine

1870 年創業の百貨店サマリテーヌのリノベーション。魅力は、ポン・ヌフ館と呼ばれる建物の建築デザインや内部装飾にふんだんに織り込まれたアール・ヌーヴォー様式だ。新設した精緻なウェーブのかかったガラスの外観には、リヴォリ通りに並ぶ建物や青空が映しだされ、クラシックな街並みの中でその美しさがひときわ目を惹く。
設計：SANAA　用途：百貨店・ホテル・スパなど

ポン・ヌフ館内部の吹き抜け。手摺りの繊細な装飾が美しい。

# おわりに

この度は埼玉建築設計監理協会賞を頂いたことでこのような貴重な機会を作ることができ、誠にありがとうございました。この２ヵ月間のフランス海外研修は私の人生にとって決して忘れることのない大切な財産になりました。街づくり・建築の知識だけでなく、人生に対する考え方やグローバルな視点でのものの見方を学ぶことが出来ました。

これからもぜひ、建築学生のためにこのような機会を与えてくださる卒業設計コンクールを継続して頂けることを願っています。

最後に、埼玉建築設計監理協会の関係者のみなさま、卒業設計コンクールで審査員をして頂いたみなさま、最後まで卒業設計のご指導いただいた櫻井義夫教授に、心から感謝申し上げます。

2022.02.21
磯永涼香

担い手確保
育成
corner
―2―

# ものつくり大学卒業生の就職動向について

ものつくり大学学生課

## 1 大学の概要

本学は２００１年４月に開学し、２０２０年に開学２０周年を迎えた工科系単科大学です。１学部（技能工芸学部）２学科（情報メカトロニクス学科、建設学科）から成り、現在１，２００人強の学生が在籍しています。また、開学以来平均９６％の就職率を達成し、多くの卒業生を実践力も兼ね備えた技術者として産業界に送り出しています。

なお、２０２２年度入学生から時代のニーズに対応するため従来の「総合機械学科」を「情報メカトロニクス学科」に改変しました。

学生は北海道から九州・沖縄まで全国各地から集まっていますが、出身地別にみると、関東が約８０％を占め、次いで甲信越・北陸、東北がそれぞれ約５％となっています。なお、埼玉県出身者が３０％強を占めています。

授業は６割以上が実技・実習などで占められており、実務経験豊富な教授陣と各界一流の技術者が指導を行っています。理論と実技を融合したカリキュラムと徹底した少人数実践教育で、社会で即戦力となる実力を身につけた人材の育成に努めています。

本学の特徴である実働４０日間（６月中旬から８月中旬）のインターンシップは２年次に授業の一環として、情報メカトロニクス学科では企業等の生産現場での実務を体験し、また建設学科では建設現場での補助的な業務・作業などを体験しています。その他、４年次には、就職を念頭においたインターンシップが用意されており、自身が学んでいる分野に沿った企業で専門性の高い実務を経験することができます。

なお、昨年度は、コロナ禍ということを踏まえ、学生とその家族の意向及び受入企業の意向等に配慮した上で、２年生は予定通り実働４０日間（６月中旬から８月中旬）のインターンシップを実施し、３年生は新型コロナウイルス感染拡大より２年生の時に中止となったインターンシップを夏休み期間中に実施しました。

## 2 就職の動向

### （1）２０２２年３月卒業者の動向

２０２２年３月卒業者は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、Web方式による会社説明会や面接などが導入されたことで、会社と接する時期が早期化し、内定時期も早まるという傾向が見受けられました。月が進むにつれて、売り手市場という安心感からか、学生の就職活動が停滞するという状況が見られましたが、最終的には前年と同等の就職率となりました。

２０２２年３月卒業者の就職率は９８.５％で、そのうち、埼玉県内への就職率は２７.０％となっています。学科別にみると、総合機械学科９６.４％（埼玉県内２５.０％）、建設学科１００％（同

２８.３％）となっています。（表１）

２０２２月３月卒業者の就職先業種をみると、総合機械学科卒業者では、図１に示す通り、「設計・運輸」（２２.４％）、「金属製品」（１７.１％）「一般機械」（１４.５％）、「自動車・造船」（７.９％）「電機・電子」（6.6％）、「化学・プラスチック」（3.9％）の順となっています。また、建設学科卒業者では、図２に示す通り、「建築・住宅」（２４.０％）「総合建設業」（２２.４％）、「専門工事」（１８.４％）、「設計・不動産等」（１０.４％）、「土木・造園工事」（９.６％）、「各種製造」（８.０％）の順となっています。

| | 2021年度卒業生数（人） | 民間就職希望者数（人） | 民間企業就職者数（人） | 民間企業就職率（%） |
|---|---|---|---|---|
| **総合機械学科** | **98** | **83** | **80** | **96.4%** |
| **建設学科** | **153** | **120** | **120** | **100.0%** |
| **合計** | **251** | **203** | **200** | **98.5%** |
| 2020年度（第17期生） | 228 | 203 | 200 | 98.5% |
| 2019年度（第16期生） | 198 | 188 | 182 | 96.8% |
| 2018年度（第15期生） | 237 | 221 | 217 | 98.2% |
| 2017年度（第14期生） | 216 | 196 | 192 | 98.0% |

**表1．２０１７年度以降の就職率の変遷**

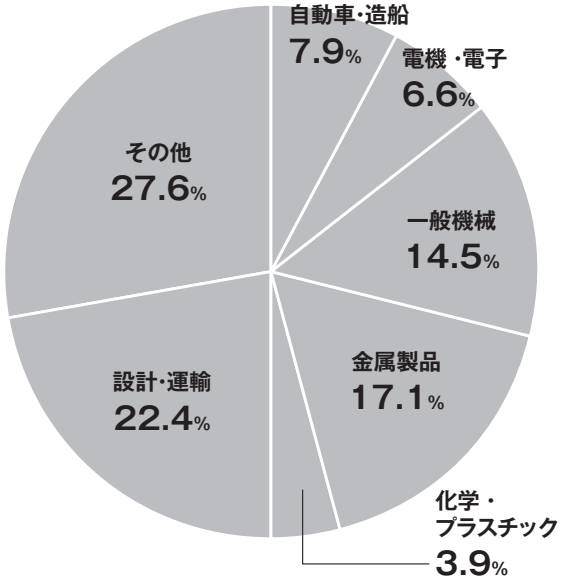



**図1．総合機械学科の就職先区分**

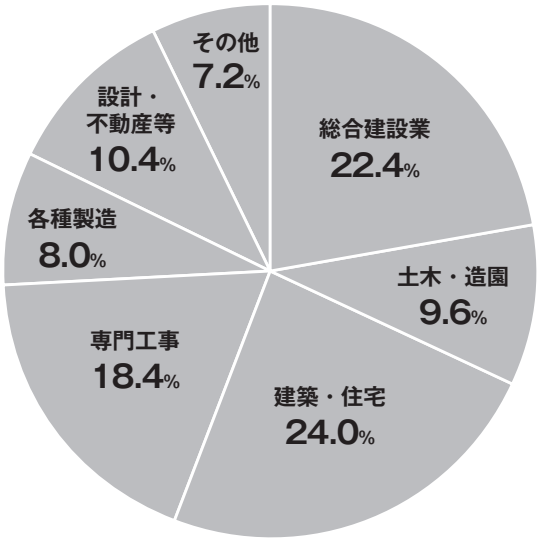



**図2．建設学科の就職先区分**

## （2）２０２３年３月卒業予定者（現４年生）の動向

現在、２０２３年３月卒業予定者（現４年生）が就職活動に取り組んでいます。新型コロナウイルス感染拡大の影響は続いていますが、昨年に比べ企業の採用活動は早期化し、活発になっています。会社説明会や面接等の選考については、Web方式と対面方式を併用する企業が多く見受けられ、学生は直接企業の方と接する機会が増えています。

学生は各種情報サイトや会社のホームページ、または本学にいただいた求人情報の中から情報を得て、会社説明会や現場見学会に参加し、詳しい企業情報の収集等に努めているとともに、面接などの採用選考に取り組んでいます。企業の採用・選考時期が昨年より早期化していることから、学生の就職に向けた活動も早い段階から本格化してきています。

本学としては、多くの企業との面談を通して企業の採用情報等を収集し、その情報を学生に提供することで、学生が早期に内定を取得できるよう就職支援の強化を図っていきます。

担い手確保
育成
corner
―3―

# 工業高校卒業生の就職動向について

埼玉県教育局県立学校部　高校教育指導課

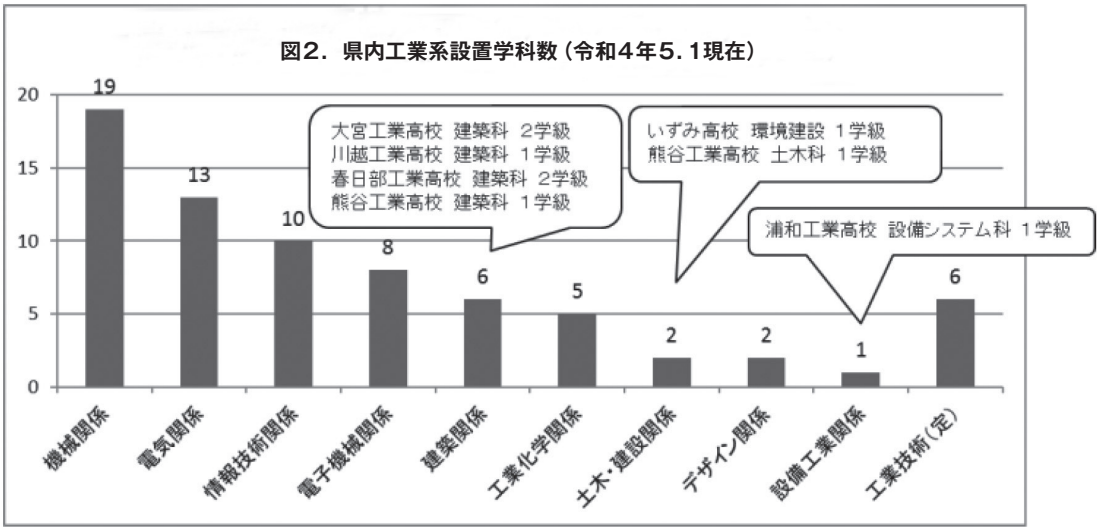
## 1 埼玉県の県立工業高校について

本県では県立工業高校を15校設置している。（図１）

各工業高校で設置している学科は異なり、１学科に対する生徒定員は、40人又は80人である。（図２）

**図1．埼玉県内の県立工業高校の配置**

**図2．県内工業系設置学科数（令和4年5．1現在）**



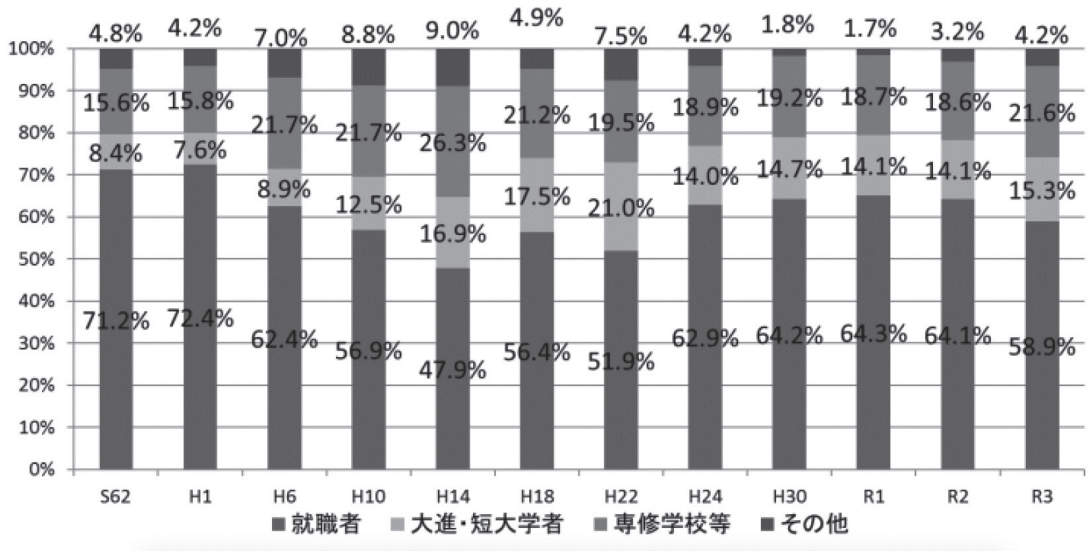

全日制 15 校（単独校9、併置校5、生物・環境系1）、定時制３校
令和３年度 高校教育指導課 産業教育に関する調査より

建設関係の学科は、６校（いずみ、大宮工業、川越工業、春日部工業、熊谷工業、浦和工業）で生徒定員は320人である。県内の工業高校の令和３年度就職希望者数は1,437人（令和４年４月埼玉県教育委員会調べ）である。

## 2 埼玉県工業高校の進路割合について

本県工業高校の進路割合は、就職者58.9%、進学者36.9%と例年より就職者数が減っている。（図３）新型コロナウイルス感染症の影響で、希望する進路にも変化が表れている。

**図3．県内工業高校の進路先割合の推移（昭和６２年～令和３年）**

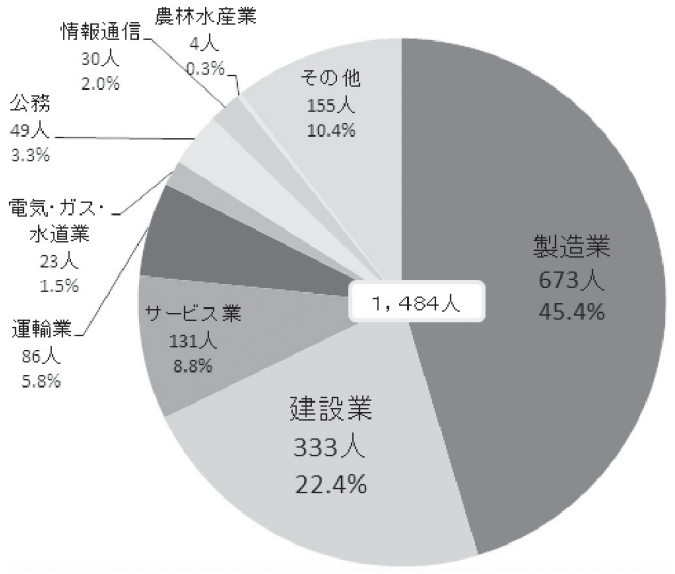



## 3 工業高校生の就職の動向について

本県工業高校生の就職について産業別に分類すると製造業に就く者が45.4%と高い割合を示し、次いで建設業約22.4%、サービス業約8.8%という状況である。（図４）

工業高校生の就職については、製造業が中心で、在学中に学んでいる専門性を生かした就職先を選択している傾向が強く、また、県内の企業への就職者は71.5％である。

**図４．県内工業高校の産業分類別就職者割合（令和３年３月卒業生）**



担い手確保
育成
corner
―4―

ワンポイント講座

# 工事成績評点のポイントアップ

埼玉県総合技術センター

工事検査員は、設計図書や関連規定に則して、所定の出来形や品質等が確保されているかを確認し評定を行っています。さらに成績評定をアップさせるためには、現場条件にあった創意工夫を行うことが重要なポイントとなります。

今回は、昨年度の工事から、創意工夫の事例を紹介いたします。それぞれの現場条件に合わせ工夫して活用してください。

## 創意工夫の事例

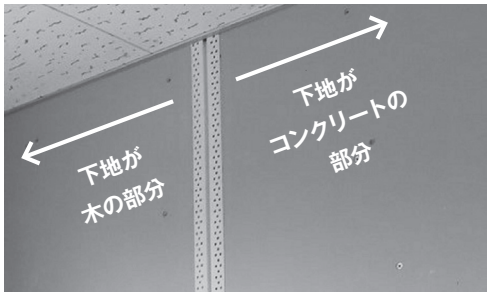
### 1 施工関係①

### 内装仕上げのひび割れ等の対策

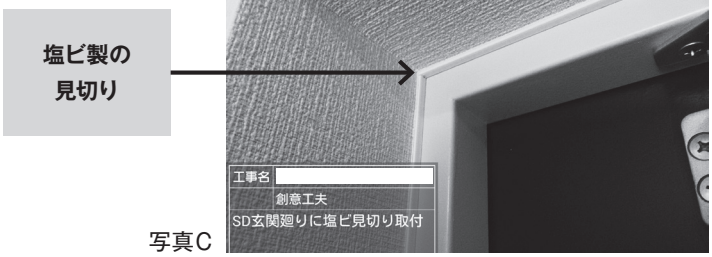
内装仕上げの下地には、コンクリートや木、金属など様々で、地震等の振動での動き方がそれぞれ異なります。よって、同じ壁面で同じ壁紙を連続して貼る場合、地震等の振動により下地にすき間やひび割れが生じ、それが壁紙にも表れてきます。写真ＡＢは、内装ボード（下地がコンクリートと木製）のジョイント部に伸縮性のあるハット型目地を使用することにより、下地の動きによる壁仕上げのクラックを防止した事例です。目地幅も狭いため、目立たないものになっています。

また、屋外と屋内の温度差が大きいと室内に結露が生じる場合があります。それにより、カビが発生したり、内壁等が濡れてしまうこともあります。写真Ｃは、玄関ＳＤ（鋼製建具）と壁クロスの接触面に塩ビ製の見切りを取付け、壁面への結露の接触を避け、カビの発生や壁面が濡れることを防止した事例です。

写真Ａ




写真Ｂ

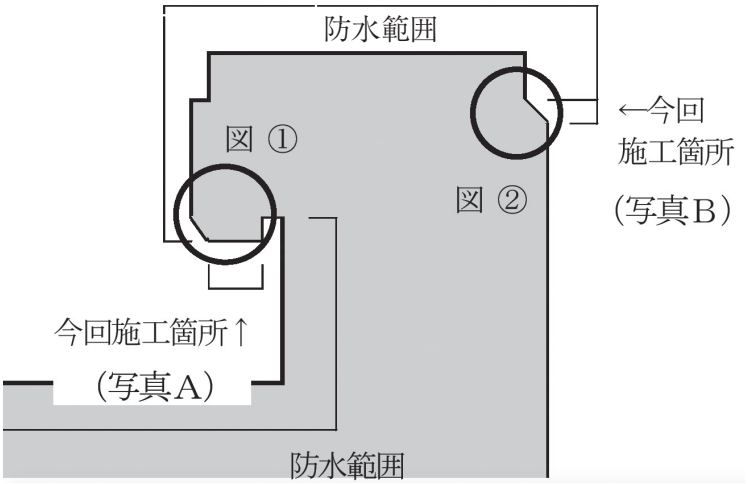



写真Ｃ

## 2 施工関係②

### 屋上パラペット廻りの防水対策

屋上防水の改修（ウレタン塗膜防水）においては、パラペット部分も施工しますが、あご下（図①）は除かれています。アゴ下は、劣化による爆裂でコンクリートが剥落する事例が稀にあります。写真Aは、防水のトップコートを一律に施工し保護した事例です。また、パラペット廻りは漏水の要因となる場合もあります。図②は、パラペット外部と外壁との取り合い部（パラペット天端から50mm程下部にある入隅）です。写真Bは、漏水を防止するため、当該入隅の下の出隅までウレタン塗膜防水を伸ばし、防水完了後に外壁複層塗材を被せ、当該入隅を外壁の見切りとした（防水範囲をパラペット外部の入隅までカバーした）事例です。なお、パラペットのトップ色（ライトグレー）と白系の外壁複層塗材との対比効果もあり、笠木のような見栄えとしています。



写真A

写真B

## 3 品質管理関係

### タブレット端末と専用ソフトによる品質管理

現場写真のとりまとめや指示書の作成などには時間を要します。一方、建設業における働き方改革も必要となっております。写真は、現場撮影など品質管理をタブレット端末と専用ソフトにて行ったものです。タブレット端末を使用することで、現場で撮影した写真をその場でまとめることができたり、現場での指示書の作成などもすぐにメモやチェックリストなどが添付できるので、現場事務所での作業時間を短縮し、働き方改革の取り組みを実践することができます。

タブレット端末を使用して
現場で写真を整理

担い手確保
育成
corner
―5―

# 講習会案内

| 団体名 | 講習名 | 講習予定日 | 会場 |
|---|---|---|---|
| 埼玉県電気工事工業組合<br>048-663-0242 | 工事担任者　第１級デジタル通信 | ８月１～２日 | 埼玉電気会館 |
| | 現場代理人管理技術基礎 | ８月４～５日 | 埼玉電気会館 |
| | 第２種電気工事士学科受験 | 第２回：８月 23～25 日 | 埼玉電気会館 |
| | 第１種電気工事士学科受験 | ９月１～２日・８～９日 | 埼玉電気会館 |
| | １級電気工事施工管理技士受験（二次） | ９月７・14・29 日 | 埼玉電気会館 |
| | 小型車両系建設機械（３t 未満）運転 | ９月 15～16 日 | ㈱ PEO 建機教習センター<br>埼玉教習所（草加市） |
| | 高圧ケーブル技能認定 | 第１回：10 月４～５日<br>第２回：10 月６～７日 | 埼玉電気会館 |
| | ２級電気工事施工管理技士受験 | 10 月 12・19・26 日・<br>11 月１日 | 埼玉電気会館 |
| | ２級電気通信施工管理技士受験（一次） | 第２回：10 月 14・18・24 日 | 埼玉電気会館 |
| | 丸のこ等取り扱い作業従事者特別教育 | ８月８日 | 埼玉電気会館 |
| 一般社団法人<br>埼玉県電業協会<br>048-864-0385 | 第一種電気工事士試験（筆記）受験準備講習会 | ８月 23・30 日、<br>９月５・12・20 日 | 埼玉建産連研修センター１０３ |
| | １級電気工事施工管理技術検定（二次）受験準備講習会 | ９月９・16・22・30 日 | 埼玉建産連研修センター１０３ |
| | ２級電気通信施工管理技術検定試験受験準備講習会 | 10 月４・11・17 日 | 埼玉建産連研修センター１０３ |
| | 職長・安全衛生責任者能力向上教育 | 10 月５日 | 埼玉建産連研修センター１０３ |
| | ２級電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会 | 10 月７・14・21・31 日 | 埼玉建産連研修センター１０３ |
| | １級電気通信施工管理技術検定（二次）受験準備講習会 | 10 月 26～27 日 | 埼玉建産連研修センター１０３ |
| | 登録電気工事基幹技能者認定講習 | 10 月 29～30 日 | 埼玉建産連研修センター２００ |
| 埼玉労働局長<br>登録教習機関<br>建設業労働災害<br>防止協会<br>埼玉県支部<br>048-862-2542 | 地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習<br>（埼玉労働局長登録第 255 号） | ８月 24～26 日<br>10 月 12～14 日 | 埼玉県県民活動総合センター |
| | 足場の組立て等作業主任者技能講習<br>（埼玉労働局長登録第１号） | ８月 30～31 日 | 埼玉県県民活動総合センター |
| | 型枠支保工の組立て等作業主任者技能講習<br>（埼玉労働局長登録第２号） | ８月９～10 日 | 埼玉県県民活動総合センター |
| | 木造建築物の組立て等作業主任者技能講習<br>（埼玉労働局長登録第 132 号） | 10 月４～５日 | 埼玉県県民活動総合センター |
| | ずい道等の掘削等作業主任者技能特例講習 | ９月８日 | 埼玉県県民活動総合センター |
| | 職長・安全衛生責任者教育 | ９月６～７日 | 埼玉建産連研修センター |
| | 職長・安全衛生責任者能力向上教育 | ８月 23 日 | 埼玉建産連研修センター |
| | 足場の組立て等作業主任者能力向上教育 | ９月 15 日 | 埼玉建産連研修センター |
| | 足場の組立て等特別教育 | 10 月 21 日 | 埼玉建産連研修センター |
| | フルハーネス型安全帯使用作業特別教育 | ９月 22 日、10 月 19 日 | 埼玉建産連研修センター |
| | 自由研削用といしの取替え等の業務に係る特別教育 | ８月４日 | 埼玉建産連研修センター |
| | 石綿使用建築物等解体等業務特別教育 | ８月１日 | 埼玉建産連研修センター |
| | 施工管理者等のための足場点検実務者研修(CPDS 認定講習) | ８月２日 | 埼玉建産連研修センター |
| | 建設工事統括安全衛生管理講習（CPDS 認定講習） | 10 月 18 日 | 埼玉建産連研修センター |
| | 丸のこ等取扱い作業従事者教育 | ９月 21 日 | 埼玉建産連研修センター |
| | 建築物石綿含有建材調査者講習（一戸建て等） | 10 月 27～28 日 | 埼玉県県民活動総合センター |

※予期せぬ理由により日程の変更、または中止になる場合があります。
　詳細は各団体へお問い合わせください。

# 公共工事前払金保証統計から見た 県内の公共工事等の動き（令和3年度）

東日本建設業保証株式会社埼玉支店

## 前払金の状況

令和3年度の埼玉県内における前払金保証取扱高は、件数が7,661件（前年度比－1.7%）、請負金額が4,229億円（前年度比+2.9%）となりました。

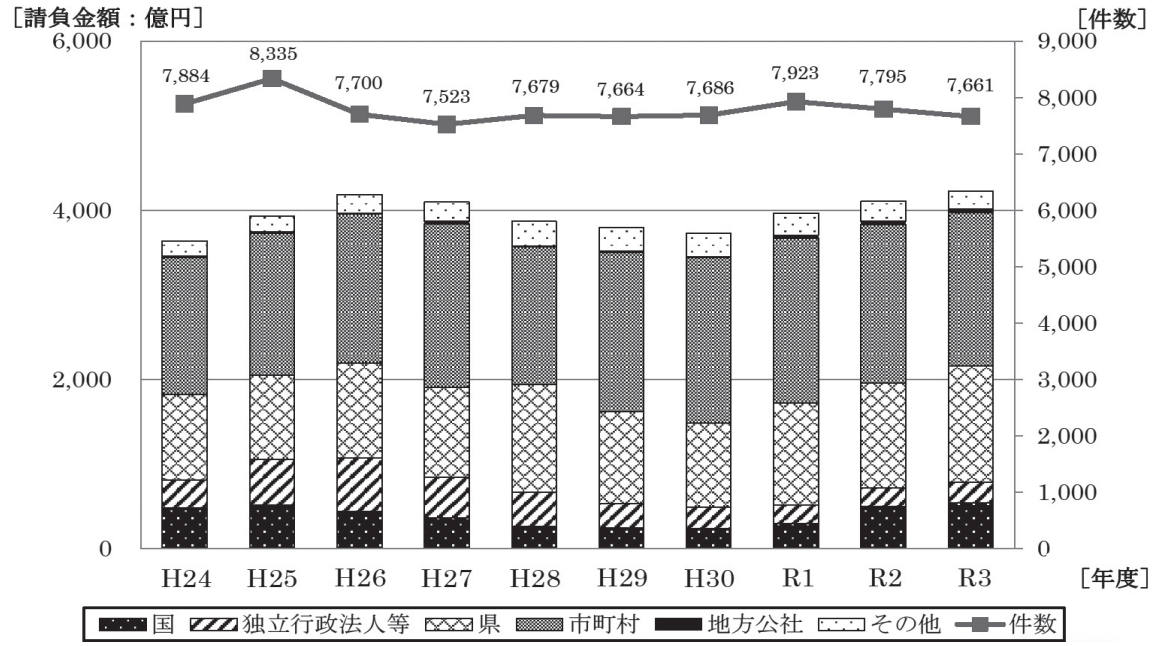
発注者別（請負金額）にみますと、「埼玉以外の都県」、「市町村」、「その他」が減少したものの、「国」、「独立行政法人等」、「埼玉県」、「地方公社」は前年度比で増加となりました。

また、過去10年間の年度別推移（請負金額）をみますと、平成26年度にピークを迎え減少傾向が続いていたものの、令和元年度より増加に転じ、増加傾向が続いています。

（金額単位:百万円）

| 発注者＼年度 | | 令和3年度 | | 令和2年度 | | 対前年度増減率（%） | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 件数 | 請負金額 | 件数 | 請負金額 | 件数 | 請負金額 |
| 国 | | 278 | 53,714 | 286 | 49,530 | −2.8 | 8.4 |
| 独立行政法人等 | | 148 | 25,136 | 136 | 22,798 | 8.8 | 10.3 |
| 都県 | 埼玉県 | 2,897 | 124,471 | 2,687 | 107,981 | 7.8 | 15.3 |
| | 埼玉以外の都県 | 41 | 13,314 | 47 | 15,445 | −12.8 | −13.8 |
| 市町村 | | 3,966 | 181,125 | 4,272 | 187,577 | −7.2 | −3.4 |
| 地方公社 | | 56 | 4,213 | 48 | 4,008 | 16.7 | 5.1 |
| その他 | | 275 | 21,020 | 319 | 23,534 | −13.8 | −10.7 |
| 合　計 | | 7,661 | 422,995 | 7,795 | 410,876 | −1.7 | 2.9 |

### 年度別推移（10年間の動向）



## 中間前払金の状況

国土交通省、農林水産省をはじめとする国の機関や地方公共団体などでは、前払金に加えて、工事代金の2割を前払いする制度（中間前金払制度）が導入されております。

令和3年度の埼玉県内における中間前払金保証取扱高は、件数が266件となり、前年度比-3.3%となりました。

（金額単位:百万円）

| 発注者＼年度 | | 令和3年度 | | 令和2年度 | | 対前年度増減率（%） | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 件数 | 請負金額 | 件数 | 請負金額 | 件数 | 請負金額 |
| 国 | | 8 | 1,376 | 10 | 2,110 | -20.0 | -34.8 |
| 独立行政法人等 | | 3 | 930 | 6 | 2,229 | -50.0 | -58.3 |
| 都県 | 埼玉県 | 93 | 8,968 | 99 | 8,658 | -6.1 | 3.6 |
| | 埼玉以外の都県 | 1 | 429 | 1 | 91 | 0.0 | 369.1 |
| 市町村 | | 153 | 16,088 | 148 | 18,613 | 3.4 | -13.6 |
| その他 | | 8 | 1,612 | 11 | 1,056 | -27.3 | 52.7 |
| 合　計 | | 266 | 29,405 | 275 | 32,760 | -3.3 | -10.2 |

## 中間前金払制度の導入状況

県内市町村においては、改正品確法に基づき発注者共通の指針として定められた「発注関係事務の運用に関する指針」等の内容も踏まえ、順次導入が進められているところです。

令和4年度より新たに伊奈町、毛呂山町、越生町、上里町が導入し、県内導入市町村数は38市9町、導入率は74.6%となりました。

お問い合わせ先 **東日本建設業保証株式会社埼玉支店**

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂 4-3-15 K・Sビル5階

TEL 048-861-8885　FAX 0120-027-336

東日本建設業保証（株）からグループ会社商品のお知らせです！！

～国土交通省　**地域建設業経営強化融資制度**～

# KKS出来高融資

## KKS出来高融資のおすすめポイント

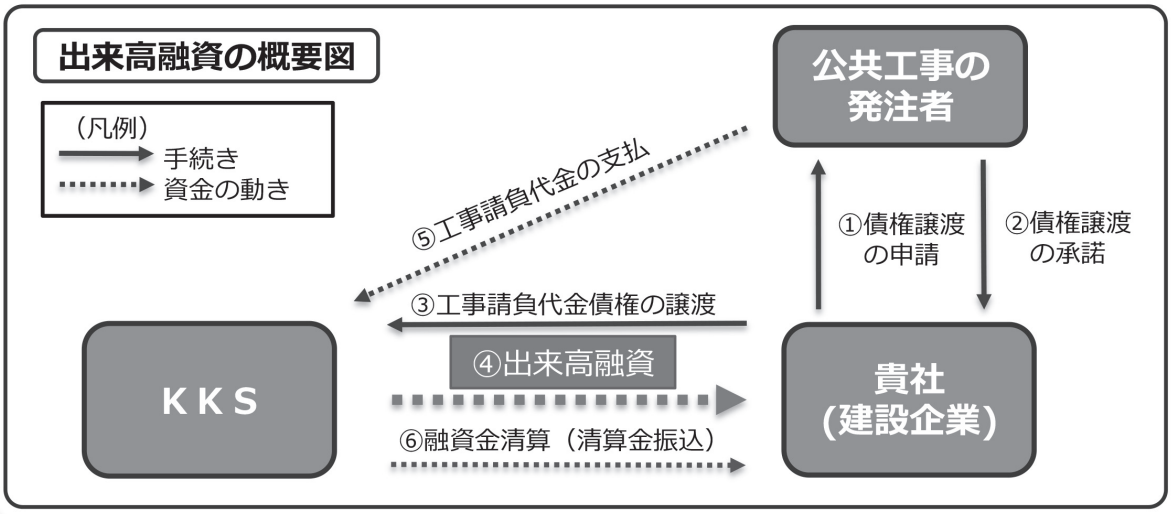
☑　立替払いが多く、資金繰りに負担がかかっている・・・
⇨ 工事の出来高に応じて融資を受けられます！

☑　工期が延長し、竣工金の受取りまで時間がかかりそう・・・
⇨ 竣工金を受け取る前までの**資金繰りに役立ちます！**

☑　金融機関の融資枠とは、別の資金調達手段を確保したい・・・
⇨ **保証人を立てたり、不動産の担保設定は不要**です！

## KKS出来高融資のしくみ

貴社が発注者に対して有する工事請負代金債権を譲渡いただいたうえで建設経営サービス（KKS）が**出来高に応じて融資**を行い、完成代金の入金をもってご返済いただきます。




## 制度を採用している発注者

国　：国土交通省、農林水産省、文部科学省、防衛省
独立行政法人等：都市再生機構、水資源機構、鉄道・運輸機構、高エネルギー加速器研究機構
東日本高速道路（株）、首都高速道路（株） 等
県内自治体　：埼玉県、さいたま市、行田市、所沢市、上尾市、草加市、越谷市、入間市、久喜市、坂戸市、嵐山町、小川町、杉戸町

※上記発注者以外でも制度を利用できる場合もあります。まずはご相談ください。

～国土交通省　**下請債権保全支援事業**～

# KKS保証ファクタリング

## こんな不安お持ちじゃないですか？？

☑　過去に焦付きで痛い目を見た・・・
（仕事した分は確実に回収したい！）

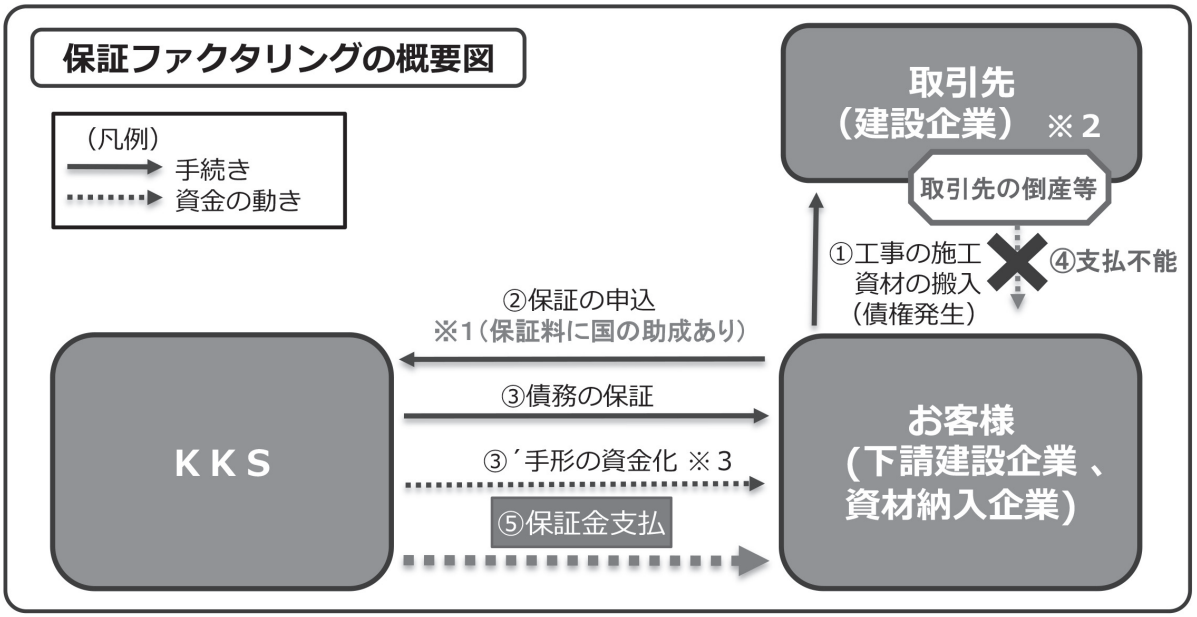
☑　新しい取引先との仕事は不安だ・・・

☑　取引先に知られることなく保全したい・・・

不安を解消！

## KKS保証ファクタリングのしくみ

貴社がお取引先（建設企業）に対して有する債権（売掛金・手形・電子記録債権）の決済をKKSが保証するサービスです。




※１　保証料率の**３分の１**（年率1.5%を上限）が**国の助成**により減免されます。

※２　取引先（建設企業）は、**過去2年間に公共工事の受注実績がある企業、**または**経営事項審査を受審している企業**であることが要件となります。

※３　保証する手形・電子記録債権（でんさい）の**資金化も可能**です。

**まずは、お電話ください！！**


KKS出来高融資・KKS保証ファクタリングの手続きに関するお問合せ先

KKS
～東日本建設業保証グループ～
**株式会社建設経営サービス**
(貸金業登録番号関東財務局長(4)第01480号)

〒104-0045
東京都中央区築地5-5-12
浜離宮建設プラザ9F
**TEL 03-3545-8523（金融第二部）**

# ・会員だより・

## 令和４年度通常総代会を開催

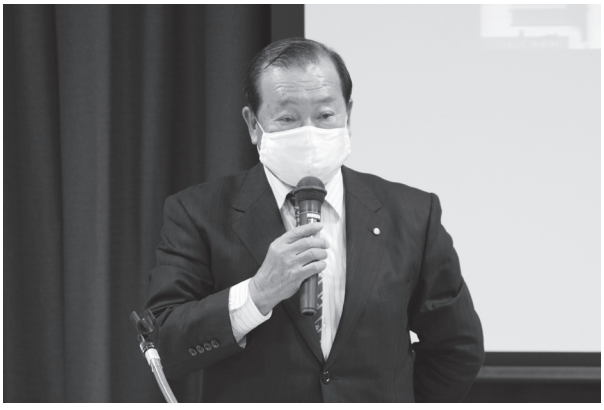
埼玉県電気工事工業組合（沼尻芳治理事長）は、５月２５日（水）に、さいたま市北区の埼玉電気会館で令和４年度通常総代会を開催した。

今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から各総代は書面で議決権を行使しての開催となった。

議案審議では、令和３年度事業報告と決算報告や令和４年度事業計画案及び収支予算案などを審議。

沼尻理事長は、令和４年度の事業方針として「急速に変化する時代にスピード感をもって対応し、遅滞することなく潮流を適確にとらえ、次なるステージへ向け新たな収益事業の開拓など組織の繁栄と安定化に積極的に挑戦し、組合の持続的発展を目指し、引き続きコロナの影響を最小限に抑え、組合運営に最善を尽くしていく。」と述べた。

令和４年度の主な事業計画は、1「安定した組合運営」として、組合組織及び組合運営の革新的なビジョンの具現、予算の効率的な執行及び自己資本比率５０％台の維持等、2「電気保安及び安全・安心の確保」として、一般用電気工作物調査業務の調査品質の向上等、3「電気工事品質及び技術の向上」として、認定職業訓練校（Ｓ・Ｅ・Ｃセンター）の運営充実等、4「組合及び組合員の地位向上」として、支部及び青年部会の活動支援、新規組合員の加入促進等３６項目が承認された。



挨拶する沼尻理事長

## 連合会日誌

令和４年

３月３０日（水）埼玉県型枠工事業協会通常総会（書面決議）
４月１２日（火）（社）日本塗装工業会埼玉県支部通常総会
４月２５日（月）広報委員会
４月２６日（火）埼玉県建設産業担い手確保・育成ネットワーク幹事会
５月１２日（木）監事監査
５月１３日（金）全国建産連働き方改革検討会土木検討部会・建築検討部会
５月１７日（火）埼玉アスファルト合材協会通常総会
５月１７日（火）（社）埼玉県建設業協会通常総会
５月１７日（火）（社）埼玉県測量設計業協会通常総会
５月２５日（水）埼玉県地質調査業協会通常総会（書面決議）
５月２５日（水）（社）埼玉県造園業協会通常総会
５月２５日（水）埼玉県電気工事工業組合通常総会
５月２５日（水）（社）さいたま市建設業協会通常総会
５月２６日（木）（社）埼玉県電業協会通常総会
５月２６日（木）理事会
５月２６日（木）（社）埼玉県建築安全協会通常総会
５月２７日（金）建設業労働災害防止協会埼玉県支部通常総会
５月３０日（月）埼玉県生コンクリート工業組合総会
５月３０日（月）（社）埼玉県設備設計事務所協会通常総会
６月　８日（水）（社）埼玉建築設計監理協会通常総会
６月１４日（火）埼玉県建設発生土リサイクル協会通常総会
６月１５日（水）（社）建築士会通常総会
６月１５日（水）２０２２年度通常総会・臨時理事会
６月１７日（金）埼玉県下水道施設維持管理協会通常総会
６月２８日（火）（社）全国建産連通常総会・臨時理事会

# 総会の結果について　構成団体における総会開催結果は以下の通りです。

## 一般社団法人埼玉県建設業協会

| | |
|---|---|
| 開催日 | ５月１７日　１４時４５分から |
| 場所 | ロイヤルパインズホテル浦和 |
| 役員 | 改選 |
| 会長 | 伊田　登喜三郎 |
| 副会長 | 小川　貢三郎・武井　美親・中原　誠<br>中里　健寿・島村　健・齋藤　公志郎 |
| 主な事業 | ・将来の担い手確保・育成対策の推進<br>・経営の安定化対策の推進<br>・担い手３法の徹底と入札・契約制度改革への対応<br>・働き方改革への対応<br>・生産性及び技術力の向上 |

## 一般社団法人埼玉県電業協会

| | |
|---|---|
| 開催日 | ５月２６日　１５時３０分から |
| 場所 | ホテルブリランテ武蔵野 |
| 役員 | 改選 |
| 会長 | 積田　優 |
| 副会長 | 山口　裕・川合　昭<br>内山　祥章 |
| 主な事業 | ・就労支援・技術育成事業<br>・災害対策・環境保全事業<br>・調査研究事業<br>・人材育成・企業合理化事業<br>・技術向上・安全対策事業 |

## 一般社団法人埼玉県造園業協会

| | |
|---|---|
| 開催日 | ５月２５日　１５時００分から |
| 場所 | 埼玉建産連研修センター |
| 役員 | 改選 |
| 会長 | 渡邉　進 |
| 副会長 | 阪上　清之介・西山　敏治<br>三枝　和男 |
| 主な事業 | ・緑化事業の推進及び緑化意識の普及啓発事業<br>・造園技術の維持向上などのための研修事業<br>・関係団体との連携及び表彰推薦事業<br>・造園緑化に関する受託事業など |

## 埼玉県電気工事工業組合

| | |
|---|---|
| 開催日 | ５月２５日　１４時００分から |
| 場所 | 埼玉電気会館５階大会議室 |
| 役員 | 非改選 |
| 理事長 | 沼尻　芳治 |
| 副理事長 | 加藤　宗一・藤田　征夫<br>佐藤　隆行・羽鳥　隆行 |
| 主な事業 | ・組合組織及び組合運営の革新的なビジョンの具現<br>・予算の効率的な執行及び自己資本比率 50％台の維持<br>・電気事故防止の推進、電気保安及び安全・安心の確保<br>・認定職業訓練校（S･E･Cセンター）の運営充実<br>・電気工事技術及び品質の向上 |

## 一般社団法人日本塗装工業会埼玉県支部

| | |
|---|---|
| 開催日 | ４月１２日　１６時００分 |
| 場所 | 浦和ワシントンホテル |
| 役員 | 改選 |
| 支部長 | 西浦　建貴 |
| 副支部長 | 遊馬　久治・佐藤　尚人<br>山中　重則 |
| 主な事業 | ・本部関係開催の諸事業への参加<br>・定時総会・役員会の開催<br>・ボランティア活動<br>・セミナー・安全大会の開催<br>・ペインテナンスキャンペーンの推進 |

## 埼玉県型枠工事業協会

| | |
|---|---|
| 開催日 | ３月３０日 |
| 場所 | 書面開催 |
| 役員 | 非改選 |
| 会長 | 白戸　修 |
| 副会長 | 小山　義一・堀江　弘道 |
| 主な事業 | ・定例会議「七日会」の開催<br>・技能検定 1、２級事前講習会<br>・特定技能外国人（特定会員）受け入れ、管理<br>・技術革新及び新資材導入の調査研究<br>・登録型枠基幹技能者推進窓口 |

## 一般社団法人埼玉建築士会

| | |
|---|---|
| 開催日 | ６月１５日　１５時００分から |
| 場　所 | 埼玉建産連研修センター |
| 役　員 | 改選 |
| 会　長 | 江口　満志 |
| 副会長 | 丸岡　庸一郎・佐藤　彰宏<br>加藤　正志 |
| 主な事業 | ・建築士登録<br>・閲覧事業<br>・建築士制度普及啓発事業<br>・調査研究事業（委員会・見学会他）<br>・知識及び技術向上の為の講習会事業<br>・１級、２級及び木造建築士試験実施事業 |

## 一般社団法人埼玉建築設計監理協会

| | |
|---|---|
| 開催日 | ６月８日　１５時００分から |
| 場　所 | ホテルブリランテ武蔵野 |
| 役　員 | 改選 |
| 会　長 | 神田　廣行 |
| 副会長 | 高梨　智浩・松崎　武志<br>徳永　茂 |
| 主な事業 | ・次世代育成事業<br>・災害対策推進事業<br>・高齢者福祉対策事業<br>・環境対策事業<br>・情報発信事業 |

## 一般社団法人埼玉県測量設計業協会

| | |
|---|---|
| 開催日 | ５月１７日　１４時００分から |
| 場　所 | THE MARK GRAND HOTEL |
| 役　員 | 改選 |
| 会　長 | 及川　修 |
| 副会長 | 笠原　俊也・遠藤　秀徳<br>小山　祥史 |
| 主な事業 | ・機関誌「測量＆設計」74 号発刊<br>・「測量の日」記念行事<br>（チャリティゴルフコンペ）<br>・埼玉県への要望活動<br>・埼玉県幹部との意見交換会 |

## 建設業労働災害防止協会埼玉県支部

| | |
|---|---|
| 開催日 | ５月２７日　１４時３０分から |
| 場　所 | 建産連研修センター　大ホール |
| 役　員 | 非改選 |
| 支部長 | 島村　健 |
| 副支部長 | 関根　勇治・首藤　和彦 |
| 主な事業 | ・「建設業労働災害防止規程」をはじめ、安全衛生意識の向上の為の広報・啓発事業<br>・「ヒヤリ・ハット活動推進運動　埼玉」の実施及び労働災害防止大会の開催<br>・労働安全衛生法に基づく作業主任者技能講習等の実施<br>・安全指導者等による現場安全パトロールの実施<br>・安全衛生教育用図書・安全用品頒布 |

## 埼玉県下水道施設維持管理協会

| | |
|---|---|
| 開催日 | ６月１７日　１６時００分から |
| 場　所 | 武蔵野環境整備株式会社３階会議室 |
| 役　員 | 非改選 |
| 会　長 | 小山　昇 |
| 副会長 | 大村　相基 |
| 主な事業 | ・通常総会<br>・各社意見交換会<br>・埼玉県下水道局及び（公財）埼玉県下水道公社への要望活動 |

## 一般財団法人埼玉県建築安全協会

| | |
|---|---|
| 開催日 | ５月２６日　１５時００分から |
| 場　所 | 埼玉建産連研修センター　１０３会議室 |
| 役　員 | 非改選 |
| 理事長 | 衆子　喬 |
| 副理事長 | 伊田　登喜三郎・江口　満志<br>岡村　一巳・松原　和也 |
| 主な事業 | ・定期報告制度の周知、技術向上に関する事業<br>・防災意識向上に関する事業<br>・定期調査員及び検査員の把握及び情報の発信に関する事業<br>・特定行政庁等との委託契約に基づく事業 |

## 埼玉県地質調査業協会

| | |
|---|---|
| 開催日 | ５月２５日 |
| 場　所 | 書面開催 |
| 役　員 | 非改選 |
| 会　長 | 越智　勝行 |
| 副会長 | 関口　彰伸 |
| 主な事業 | ・埼玉および市町村への陳情活動<br>（6 月および翌年 1 月）<br>・技術講演会（2023 年 1 月 26 日予定）<br>・戸建て住宅の地盤よろず“無料”相談<br>（HP より申込み）<br>・技術講師派遣（発注先主催技術者研究会等<br>「埼玉県／さいたま市　他」）<br>・現場見学会（11 月予約） |

## 一般社団法人埼玉県設備設計事務所協会

| | |
|---|---|
| 開催日 | ５月３０日　１６時００分から |
| 場　所 | |
| 役　員 | 改選 |
| 会　長 | 金子　和已 |
| 副会長 | 栗木　薫・小野　正幸<br>竹馬　章二 |
| 主な事業 | ・建築設備の設計監理業務に関する調査研究<br>・設備設計事務所の秩序保持に関する施策の実施<br>・設備設計に関する省エネルギー、防災等の技術研究及び県民への普及啓発、設備設計技術講習会への講師派遣<br>・担い手確保、育成<br>・関係官庁及び内外関係団体との連携 |

## 埼玉アスファルト合材協会

| | |
|---|---|
| 開催日 | ５月１７日　１１時００分から |
| 場　所 | ロイヤルパインズホテル浦和 |
| 役　員 | 改選 |
| 理事長 | 中原　誠 |
| 副理事長 | 関根　信次 |
| 主な事業 | ・アスファルト混合物に関する製造技術・施工技術の調査研究と技術見学会開催<br>・アスファルト合材に関する埼玉県県土整備部との連絡会議（第 51 回）開催<br>・全体会･勉強会開催(会員の資質向上-技術の研鑽　他)<br>・南関東アスファルト合材協会連絡協議会の一員として広域的に活動する<br>・委員会活動に参加し専門知識、技術水準の向上に努める |

## 一般社団法人さいたま市建設業協会

| | |
|---|---|
| 開催日 | ５月２５日　１０時３０分から |
| 場　所 | ロイヤルパインズホテル浦和 |
| 役　員 | 改選 |
| 会　長 | 斎藤　恵介 |
| 副会長 | 片山　金次郎・高橋　正雄<br>首藤　和彦・松永　大祐 |
| 主な事業 | ・経営基盤の強化<br>・各種委員会活動<br>・要望活動<br>・大規模災害への取り組み強化<br>・関係諸団体に対する協力 |

## NPO 法人埼玉県建設発生土リサイクル協会

| | |
|---|---|
| 開催日 | ６月１４日　１５時００分から |
| 場　所 | 埼玉建産連研修センター　１０１会議室 |
| 役　員 | 改選 |
| 理事長 | 小沢　正康 |
| 副理事長 | 小重　忠司・村岸　貴久 |
| 主な事業 | ・循環型社会構築事業<br>・改良土の研究、開発、普及促進事業<br>・自然環境破壊防止活動事業<br>・建設発生土受入先の情報提供事業 |

## 埼玉県生コンクリート工業組合

| | |
|---|---|
| 開催日 | ５月３０日　１５時００分から |
| 場　所 | ロイヤルパインズホテル浦和　３階 |
| 役　員 | 非改選 |
| 理事長 | 堀川　和夫 |
| 副理事長 | |
| 主な事業 | ・品質管理監査事業<br>・指導教育事業<br>・調査・研究事業 |

# 編集後記

## 学生達に刺激を与えてもらえた

ロシア・ウクライナ情勢や中国主要都市での新型コロナウイルス感染対策措置の長期化等により、エネルギー、原材料価格の高騰や部品の製造、物流の滞りが発生しており、建設業界にも影響が及び、大きな懸念材料となっています。

一方で、建設業界では、働き方改革、新規入職者や若手の確保・育成が長年の重要課題であり、様々な対応を図っているところです。

本号では、(一社)埼玉建築設計監理協会が主催されている卒業設計コンクール展を紹介しています。建築系学生奨励事業として、多くの企業・団体、共催・協賛団体の協力により運営されているもので、今年で第２２回を迎えています。

都市や建築デザインをテーマとした卒業設計を対象としており、上位２賞には海外研修旅行目録が用意されています。受賞した学生が貴重な体験を得られる等、学生、地域、業界ともに糧となる事業であり、今後も継続していただきたい取組みです。

今年の埼玉県知事賞作品は、「わたる、であう、つむぐ。歩道橋がつくるまちの新たな風景」と題して、県内の３つの歩道橋について、まちの居場所となるようなあり方が提案されています。歩道橋から見る風景から非日常感や開放感が得られ、自分も歩道橋の上から景色を眺めることが好きなので、興味をもって拝見しました。

若い学生達の都市計画や建築デザイン作品に触れることで、鈍ってきた自分の発想力や創造力に刺激を与えてもらえたような気がします。

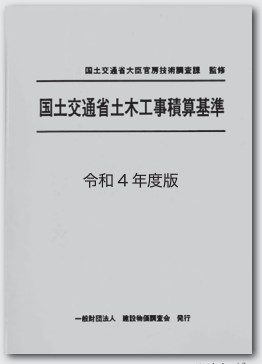
広報委員長


建産連NEWS
KENSANREN NEWS

建産連NEWS 第173号
令和４年７月26日発行

発　行　一般社団法人埼玉県建設産業団体連合会
企画・編集　広報委員会
〒336-8515 さいたま市南区鹿手袋4-1-7
ＴＥＬ　048-866-4301
ＦＡＸ　048-866-9111
ＵＲＬ　http://www.sfcc.or.jp/

# 令和４年度版 国土交通省土木工事積算基準



※イメージ

## 令和4年度 国土交通省土木工事積算基準の改定概要

**改定概要**
- ▶ 働き方改革に取り組める環境整備
- ▶ i-Constructionの更なる拡大
- ▶ 円滑な施工体制の確保

**標準歩掛**
- ●新規制定 3工種
- ●日当り施工量、労務、資機材等の変動により改定を行った工種 6工種

**施工パッケージ**
- ●新規制定 2工種 ●適用範囲の拡大 1工種
- ●日当り施工量、労務、資機材等の変動により改定を行った工種 13工種

### デジタルブック
（電子媒体）

ユーザー登録は3名まで可能です

2022年5月公開 11,550円(税込)

キーワード検索機能、印刷機能などを備えたデジタルブックであなたの積算業務効率化をお手伝いします！ 在宅勤務での利用にも最適。

オンラインショップ
**建設物価 BookStore**
**のみで販売**

### 書籍
（紙媒体）

※デジタルブックは付属しません

2022年5月発行 12,100円(税込)

紙の本ならではの視認性の高さで、関連項目ももれなく確認。正確な積算の必携書。

一般財団法人 建設物価調査会
（株）建設物価サービス 販売事業部〔販売業務代行〕

電話でのお問い合わせ
03-3663-8711

パソコンからのお申込み
建設物価 Book Store 検索

# 一般社団法人　埼玉県建設産業団体連合会　会員名簿（順不同）

〒336-8515　さいたま市南区鹿手袋 4-1-7 建産連会館１階
一般社団法人　埼玉県建設産業団体連合会
会　長　　星野　博之

電 話　048-866-4301
ＦＡＸ　048-866-9111
ＵＲＬ　http://www.sfcc.or.jp/

（２０２２年　７月１日現在）

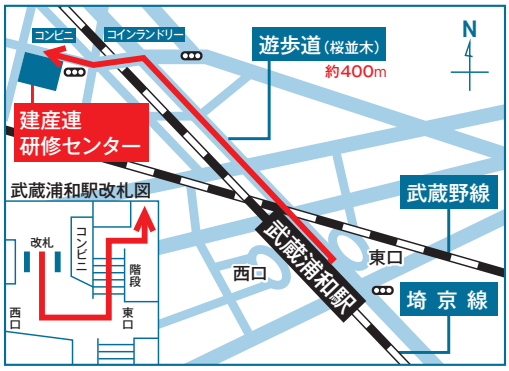
| 構　成　団　体　名 | 代　表　者 | 〒 | 所　在　地 | 電話番号 | FAX |
|---|---|---|---|---|---|
| 一般社団法人　埼玉県建設業協会 | 会　長　伊田登喜三郎 | 336-0031 | さいたま市南区鹿手袋 4-1-7 | 048(861)5111 | 048(861)5376 |
| 一般社団法人　埼玉県電業協会 | 会　長　積田　　優 | 〃 | 〃 | 048(864)0385 | 048(864)0327 |
| 一般社団法人　埼玉県造園業協会 | 会　長　渡邉　　進 | 〃 | 〃 | 048(864)6921 | 048(861)9641 |
| 東日本建設業保証株式会社埼玉支店 | 支店長　松井　博孝 | 330-0063 | さいたま市浦和区高砂 4-3-15　K・Sビル５階 | 048(861)8885 | 0120(027)336 |
| 埼玉県電気工事工業組合 | 理事長　沼尻　芳治 | 331-0813 | さいたま市北区植竹町 1-820-6 埼玉電気会館２階 | 048(663)0242 | 048(663)0298 |
| 一般社団法人　埼玉県空調衛生設備協会 | 会　長　飯沼　　章 | 338-0002 | さいたま市中央区下落合 4-8-10 | 048(855)4111 | 048(853)0676 |
| 一般社団法人　日本塗装工業会埼玉県支部 | 支部長　西浦　建貴 | 336-0031 | さいたま市南区鹿手袋 4-1-7 | 048(866)4381 | 048(866)4382 |
| 埼玉県型枠工事業協会 | 会　長　白戸　　修 | 〃 | 〃 | 048(862)9258 | 048(862)9275 |
| 一般社団法人　埼玉建築士会 | 会　長　江口　満志 | 〃 | 〃 | 048(861)8221 | 048(864)8706 |
| 一般社団法人　埼玉県建築士事務所協会 | 会　長　佐藤　啓智 | 〃 | 〃 | 048(864)9313 | 048(864)9381 |
| 一般社団法人　埼玉建築設計監理協会 | 会　長　神田　廣行 | 〃 | 〃 | 048(861)2304 | 048(863)2495 |
| 一般社団法人　埼玉県測量設計業協会 | 会　長　及川　　修 | 〃 | 〃 | 048(866)1773 | 048(864)3055 |
| 建設業労働災害防止協会埼玉県支部 | 支部長　島村　　健 | 〃 | 〃 | 048(862)2542 | 048(862)9764 |
| 埼玉県コンクリート製品協同組合 | 理事長　石綿　　弘 | 362-0014 | 上尾市本町 1-5-20 | 048(773)8171 | 048(773)8175 |
| 埼玉県下水道施設維持管理協会 | 会　長　小山　　昇 | 330-0061 | さいたま市浦和区常盤 9-5-8 トキワビル　武蔵野環境整備㈱　内 | 048(831)9667 | 048(822)7510 |
| 一般財団法人　埼玉県建築安全協会 | 理事長　桑子　　喬 | 336-0031 | さいたま市南区鹿手袋 4-1-7 | 048(865)0391 | 048(845)6720 |
| 埼玉県建設業健康保険組合 | 理事長　小川　貢三郎 | 〃 | 〃 | 048(864)9731 | 048(838)9490 |
| 埼玉県地質調査業協会 | 会　長　越智　勝行 | 〃 | 〃 | 048(862)8221 | 048(866)6067 |
| 埼玉県生コンクリート工業組合 | 理事長　堀川　和夫 | 336-0017 | さいたま市南区南浦和 3-17-5 | 048(882)7993 | 048(883)3500 |
| 一般社団法人　埼玉県設備設計事務所協会 | 会　長　金子　和已 | 330-0063 | さいたま市浦和区高砂 3-10-4 | 048(864)1429 | 048(866)5385 |
| 埼玉アスファルト合材協会 | 理事長　中原　　誠 | 336-0031 | さいたま市南区鹿手袋 4-1-7 | 048(838)5636 | 048(816)9415 |

**賛助会員**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 一般社団法人　さいたま市建設業協会 | 会　長　斎藤　恵介 | 336-0031 | さいたま市南区鹿手袋 4-1-7 | 048(863)3203 | 048(863)1794 |
| 特定非営利活動法人 埼玉県建設発生土リサイクル協会 | 理事長　小沢　正康 | 336-0031 | さいたま市南区鹿手袋 4-1-7 | 048(839)2900 | 048(839)2901 |

研修・会議にご利用ください

# 埼玉建産連研修センター




武蔵浦和駅東口から
花と緑の散歩道
（遊歩道）を歩き、
約10分で到着します。

所在地 さいたま市南区鹿手袋4−1−7

電話 048-861-4311

HP http://www.sfcc.or.jp/

MAIL k-center@sfcc.or.jp

開館時間 午前9時〜午後5時（月〜金）

※どなたでもご利用いただけます

## 埼玉建産連研修センター簡易料金表

| 会議室名称 | | 料金区分<br>最大収容人員 | 午前<br>9:00~12:00 | 午後<br>13:00~17:00 | 全日<br>9:00~17:00 |
|---|---|---|---|---|---|
| 3階 | 大ホール | 机席 3人掛 270人<br>（2人掛 180人） | 42,500円 | 47,500円 | 64,000円 |
| 2階 | 200会議室 | 机席 3人掛 153人 | 28,500円 | 35,500円 | 46,000円 |
| | 201会議室 | 机席 3人掛 99人 | 16,000円 | 18,000円 | 23,500円 |
| | 202会議室 | 机席 3人掛 45人 | 8,500円 | 9,500円 | 12,500円 |
| | 203会議室 | コの字 3人掛 15人 | 4,000円 | 4,500円 | 6,000円 |
| 1階 | 101会議室 | 机席 3人掛 104人 | 18,000円 | 20,000円 | 26,000円 |
| | 102会議室 | コの字 3人掛 15人 | 3,500円 | 4,000円 | 5,500円 |
| | 103会議室 | 机席 3人掛 61人 | 12,000円 | 13,000円 | 17,500円 |

# 『建産連ニュース』データ版ご利用の際のご注意

建産連ニュースのデータ版については、以下の事項をご了解の上、ご利用いただきますようお願い申し上げます。また、当ファイルを閲覧・ダウンロードされる際には、この条項にご了解いただいたものとみなします。

（１）著作権について

『建産連ニュース』の著作権は、一般社団法人埼玉県建設産業団体連合会に帰属します。無断での転用・転載を禁じます。

（２）免責事項

『建産連ニュース』内掲載の記事・広告は、発行当時のものであり、現在の状況とは差違が生じている部分がございますので、ご注意ください。
なお、記載内容に関連し、ご利用者の故意・錯誤により生じたいかなる損害についても、一切の責任を負いかねます。

（３）配布について

この『建産連ニュース』データ版は、無料で配布しておりますが、著作権者の許可無くしての二次利用・再配布を禁止いたします。
なお、本ページは著作者情報となります。このページを削除することを禁じます。

（４）お問い合わせ

その他、記事内容・ご利用方法について、疑問・質問等がございましたら、下記の当連合会事務局までお問い合わせください。

〇お問い合わせ
一般社団法人埼玉県建設産業団体連合会
事務局
電話　048-866-4301
E-mail　somu@sfcc.or.jp
URL　http://www.sfcc.or.jp/

２０１２年４月